

十日町市第2次学区適正化に関する アンケート調査結果分析 報告書

令和4年3月

第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社

十日町市第2次学区適正化に関する アンケート調査結果分析 報告書

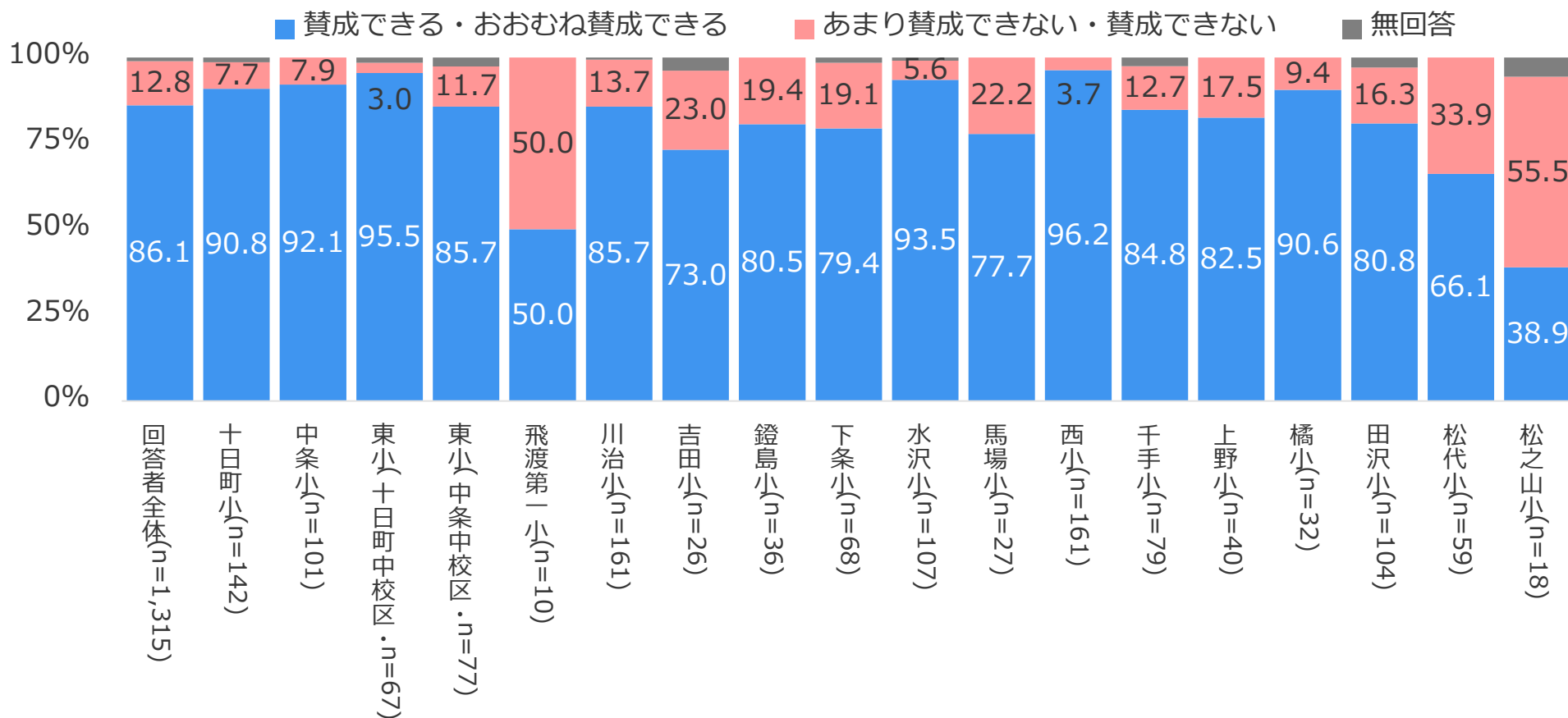
目次

1. 小学校区	2
2. 中学校区	21

1. 小学校区

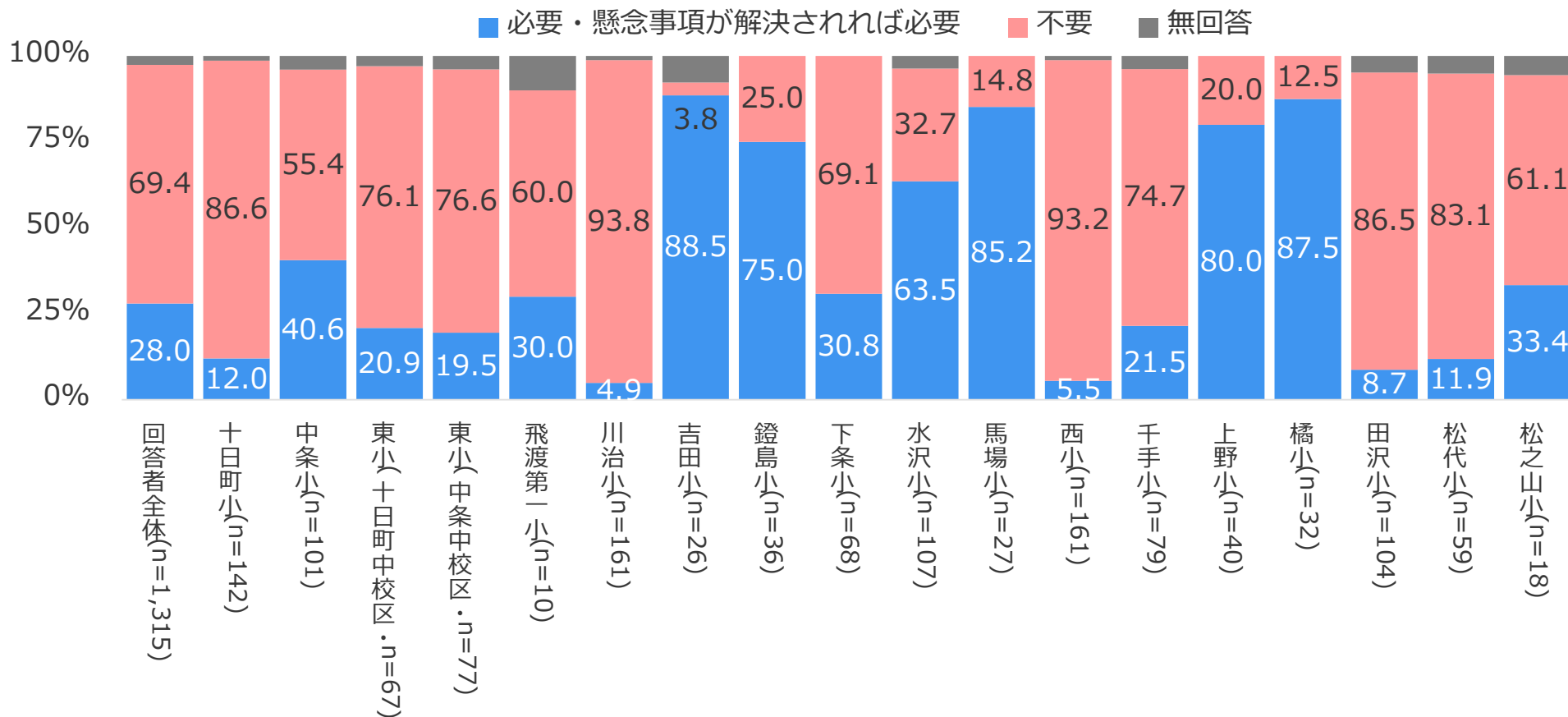
1.1 小学校の学区再編の基本方針への賛否（問3）

- 小学校の学区再編の基本方針（1学年1学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合と『反対』（「あまり賛成できない」または「賛成できない」と回答した人の割合の合計）の割合をみると、回答者全体での『賛成』は86.1%、『反対』は12.8%となっている。
- 小学校区別にみると、『賛成』の割合が高い小学校区は「西小」「東小（十日町中校区）」「水沢小」などとなっている。
- 一方、『反対』の割合が高い小学校区としては「松之山小」「飛渡第一小」「松代小」などとなっている。
- なお「飛渡第一小」については、回答者数10件で賛否半々となっているが、同校は「中条小」への学区外就学が認められており、同小学校区の就学児世帯15世帯中9世帯は「中条小」へ通学している。



1.2 居住地区の小学校の学校統合の要否（問6）

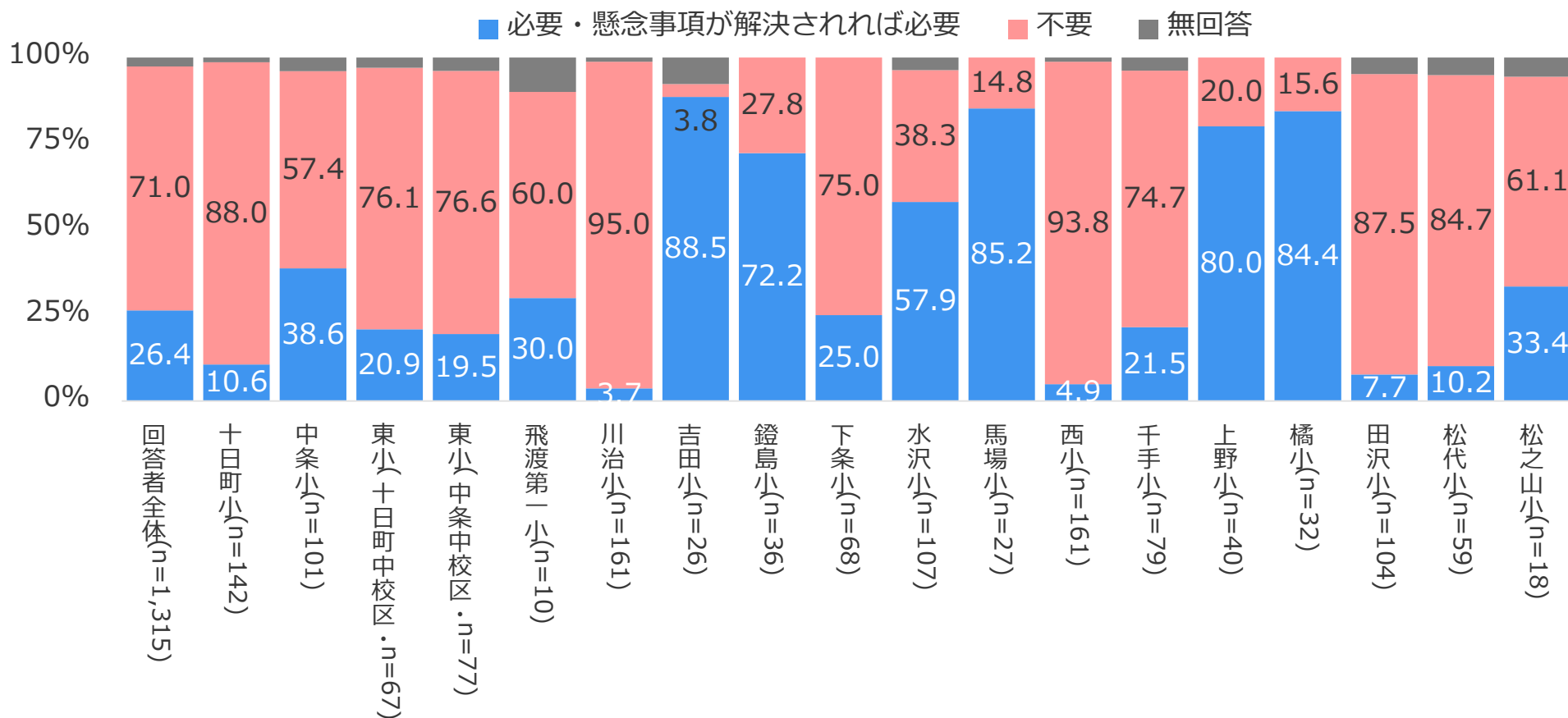
- 居住地区の小学校の学校統合に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人の割合の合計）の割合と『不要』（「不要」と回答した人の割合）の割合をみると、回答者全体での『必要』は28.0%、『反対』は69.4%となっている。
- 小学校区別にみると、『必要』の割合が高い小学校区は「吉田小」「橘小」「馬場小」「上野小」などとなっている。
- 一方、『不要』の割合が高い小学校区としては「川治小」「西小」「十日町小」「田沢小」「松代小」などとなっている。
- なお「飛渡第一小」については、2頁同様、回答者数10件で『不要』が『必要』を上回っているが、同校は「中条小」への学区外就学が認められており、同小学校区の就学児世帯15世帯中9世帯は既に「中条小」へ通学している。



1.3 居住地区の小学校の学校統合の実質要否（問6）

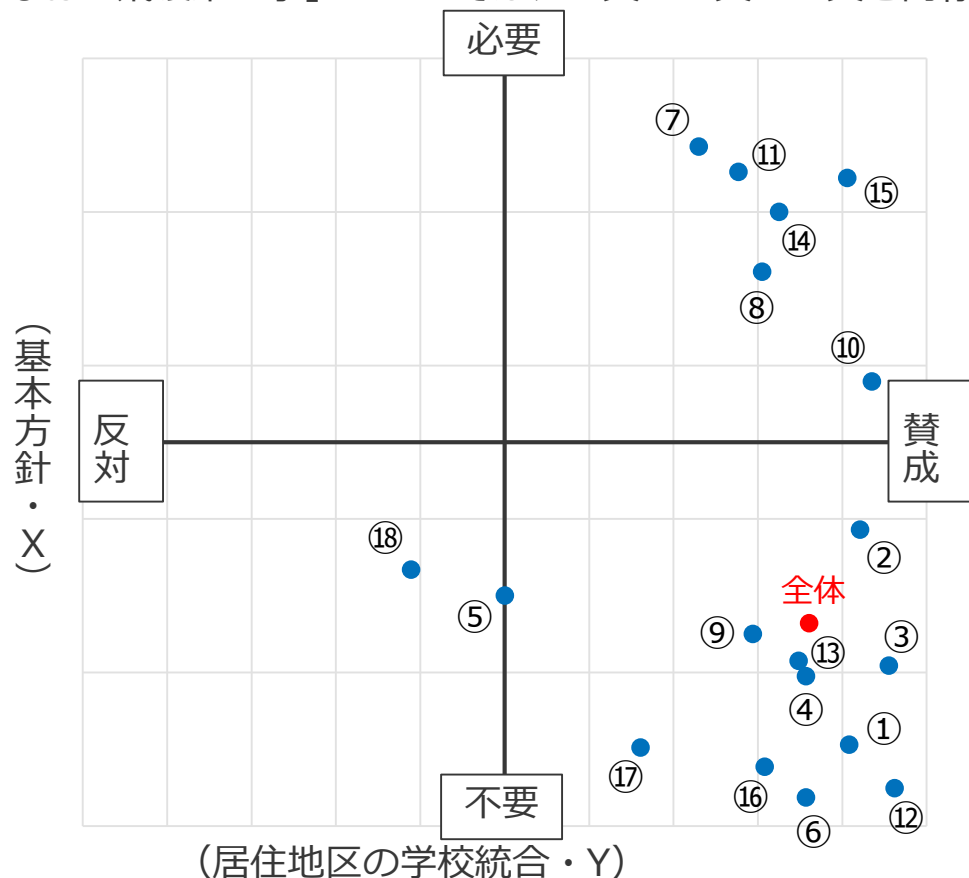
- 居住地区の小学校の学校統合に対して『必要』（※1）の割合と『不要』（※2）の割合をみると、回答者全体での『必要』は26.4%、『反対』は71.0%となっている。
- 小学校区別にみると、『必要』の割合が高い小学校区は「吉田小」「馬場小」「橘小」「上野小」などとなっている。
- 反対に、『不要』の割合が高い小学校区としては「川治小」「西小」「十日町小」「田沢小」「松代小」などとなっている。
- なお「飛渡第一小」については、3頁・4頁と同様の状況がある。

（※1）「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で統合対象の小学校として居住地区以外の小学校を回答した人の割合の合計
 （※2）「不要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で再編対象の小学校として居住地区の小学校を回答した人の割合の合計



1.4 基本方針への賛否×居住地区の学校統合の実質要否（問6）（小学校）

- 小学校の学区再編の基本方針（1学年1学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合をX軸（横軸）上に、居住地区の小学校の学校統合に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で統合対象の小学校として居住地区以外の小学校を回答した人の割合の合計）の割合をY軸（縦軸）上にプロットしたのが下図である。
- 小学校区別にみると、『賛成』『必要』の割合が両方高い小学校区としては「水沢小」「橘小」「上野小」「鑑島小」「馬場小」「吉田小」となっている。
- 反対に、『賛成』『必要』の割合が両方低い小学校区としては「松之山小」「飛渡第一小」などとなっている。
- なお「飛渡第一小」については、2頁・3頁・4頁と同様の状況がある。

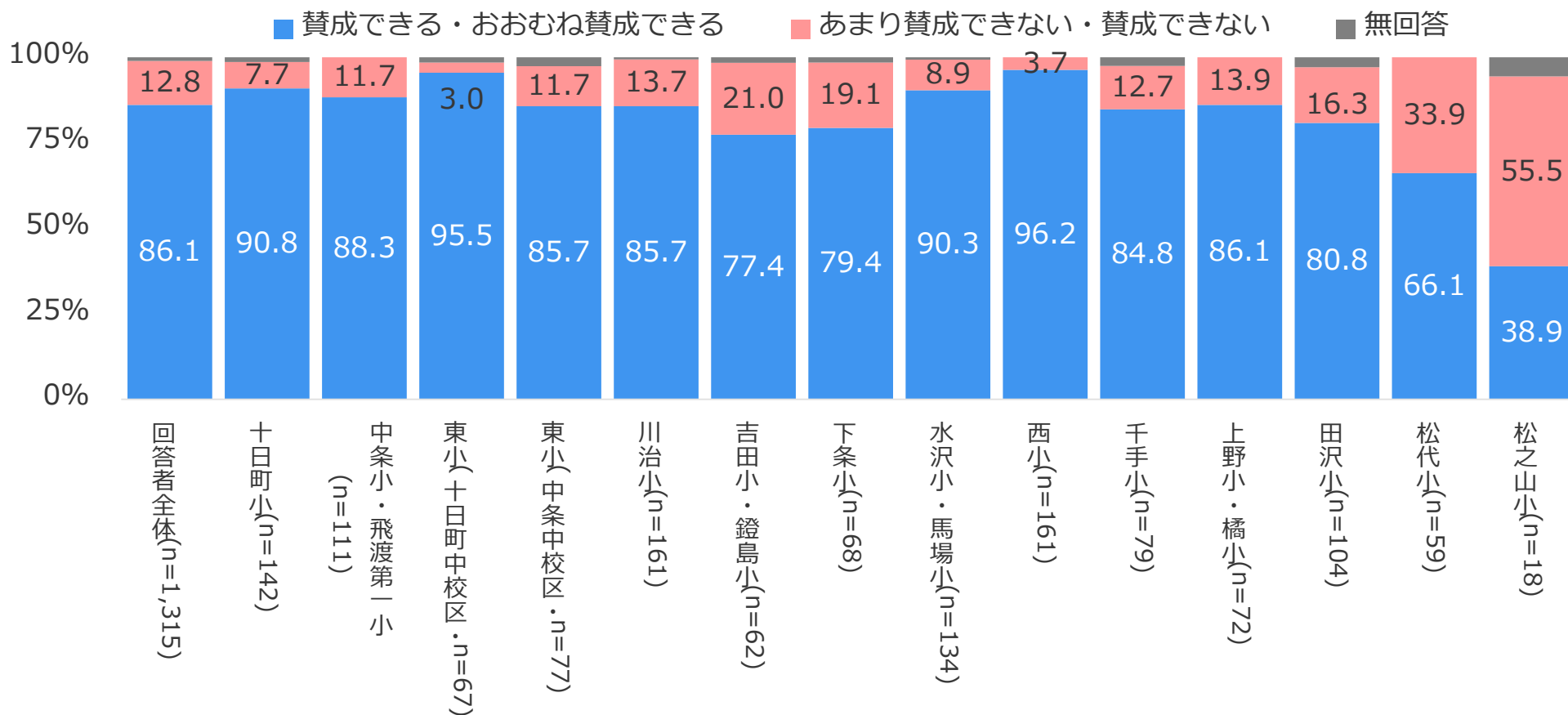


※X軸とY軸の交点は50%の点である。赤色のプロットは回答者全体の結果である

図表中 番号	小学校
①	十日町小
②	中条小
③	東小（十日町中区）
④	東小（中条中区）
⑤	飛渡第一小
⑥	川治小
⑦	吉田小
⑧	鑑島小
⑨	下条小
⑩	水沢小
⑪	馬場小
⑫	西小
⑬	千手小
⑭	上野小
⑮	橘小
⑯	田沢小
⑰	松代小
⑱	松之山小

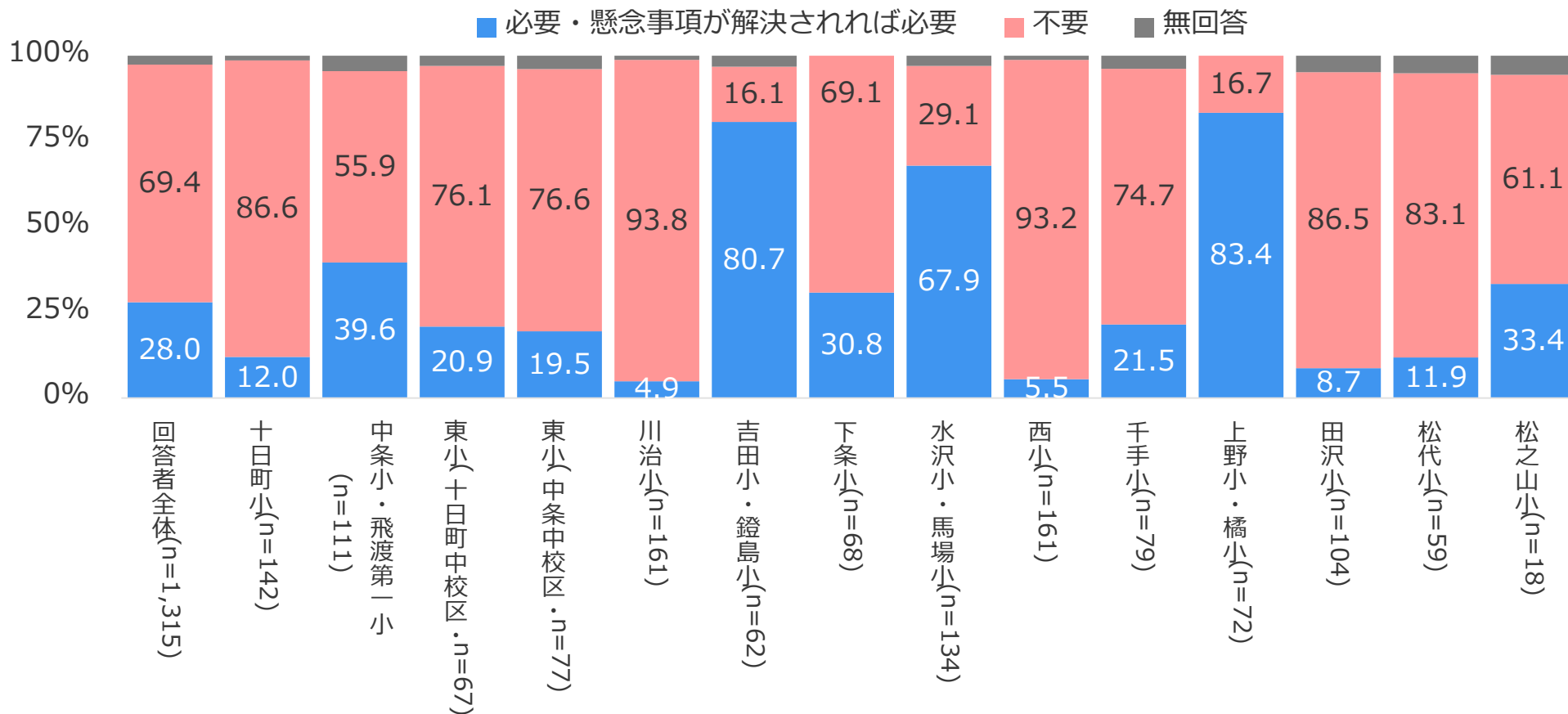
1.5 小学校の学区再編の基本方針への賛否（問3）【再編単位別】

- 小学校の学区再編の基本方針（1学年1学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合と『反対』（「あまり賛成できない」または「賛成できない」と回答した人の割合の合計）の割合をみると、回答者全体での『賛成』は86.1%、『反対』は12.8%となっている。
- 再編単位別の小学校区でみると、『賛成』の割合が高い小学校区は「西小」「東小（十日町中校区）」「十日町小」などとなっている。
- 一方、『反対』の割合が高い小学校区としては「松之山小」「松代小」となっている。



1.6 居住地区の小学校の学校再編の要否（問6）【再編単位別】

- 居住地区の小学校の学校統合に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人の割合の合計）の割合と『不要』（「不要」と回答した人の割合）の割合をみると、『必要』は28.0%、『反対』は69.4%となっている。
- 再編単位別の小学校区でみると、『必要』の割合が高い小学校区は「上野小・橘小」「吉田小・鏡島小」「水沢小・馬場小」となっている。
- 反対に、『不要』の割合が高い小学校区としては「川治小」「西小」「十日町小」「田沢小」「松代小」などとなっている。



1.7.1 記述回答の分類について

- 本アンケート調査の記述回答（※）について、「第2次学区適正化方針説明会等の総括について（令和2年11月 十日町市教育委員会）」における意見等の分類と同様に、次のとおり整理した。

※再編に当たっての課題や懸念（問9）及び自由意見（問10）

大分類	中分類
(1) 学区再編の進め方等について	①学区再編の在り方、進め方等への確認・意見
	②地域内の合意形成の在り方について
	③学校統合に当たっての調整について
(2) 教育環境等について	④通学方法・時間・負担等の確認・意見
	⑤教育・学校環境について確認・意見
	⑥教職員の配置等について確認・意見
(3) 学区適正化方針の説明・周知等について	⑦方針の説明・周知等について確認・意見
(4) 学区再編の内容等について	⑧再編組合せについて確認・意見
	⑨川西側への中学区存続要望
	⑩統合（再編）反対・学校存続希望
	⑪教育方針・内容について確認・意見
(5) 教育方針等について	⑫少人数教育・小規模校の意義
	⑬小中一貫教育・小中一貫校
	⑭学区外就学について確認・意見
	⑮地域振興について
(6) 地域振興等について	⑯少子化対策について確認・意見
	⑰産業振興・経済課題
	⑱閉校後の校舎の活用について
	⑲地域の伝統文化について
	⑳借地料について
(7) 借地料について	⑳借地料について
(8) 防災・災害について	㉑防災について
(9) その他	㉒その他

1.7.2 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（大分類）

- 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）に関する意見を9項目の大分類で分類したところ、「教育環境等について」の回答割合が特に高くなっている。
- 小学校区別にみると、『東小（中条中）』と『馬場小』『十日町小』『川治小』で「教育環境等について」の回答割合が他の小学校区よりも高くなっている。（単位：％）

		に教（ つ育2 い環） て境 等	つ進学（ いめ区1 て方再） 等編 にの	に地（ つ域6 い振） て興 等	つ内学（ い容区4 て等再） に編 の	に教（ つ育5 い方） て針 等	つ借（ い地7 て料） に	知針学（ 等の区3 に説適） つ明正 い・化 て周方	に防（ つ災8 い・） て災 害	そ（ の9 他）
回答者全体(n=393)		84.5	6.6	3.6	2.3	1.3	0.8	0.0	0.0	2.5
十日町小(n=29)	IV	96.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中条小(n=22)	IV	86.4	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（十日町中区・n=17）	IV	88.2	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（中条中区・n=20）	IV	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飛渡第一小(n=5)	III	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
川治小(n=36)	IV	94.4	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉田小(n=15)	II	66.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
鎧島小(n=16)	II	75.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
下条小(n=32)	IV	81.3	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
水沢小(n=40)	II	77.5	10.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	5.0
馬場小(n=11)	II	100.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西小(n=39)	IV	79.5	7.7	2.6	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0	2.6
千手小(n=20)	IV	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
上野小(n=11)	II	81.8	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
橋小(n=11)	II	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田沢小(n=36)	IV	80.6	11.1	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
松代小(n=27)	IV	85.2	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
松之山小(n=6)	III	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

※ローマ数字は1.4の図でX軸とY軸の交点より左上の位置にある場合をI、右上をII、左下をIII、右下をIVと表している。（次頁以後同じ）

※複数の分類に該当する回答があるため、各分類の割合の合計が100%を超える場合がある。（次頁以後同じ）

1.7.3 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（中分類）

- 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）に関する意見を22項目の中分類で分類したところ、「教育・学校環境について確認・意見」と「通学方法・時間・負担等の確認・意見」の回答割合が高くなっている。
- 小学校区別にみると、『中条小』と『十日町小』『東小（中条中区）』『千手小』で「教育・学校環境について確認・意見」の回答割合が他の小学校区よりも高くなっている。（単位：％）

		意に教（見つけたい・て学確認環境） ⑤	確問通（認・学・負方） 意担法・見等の時 ④	意に教（見つけたい・ての） 確配認置・等 ⑥	調当学（整た校につて合） いのに ③	に形地（つ成域いの内） て在のり合 方意 ②	に地（つ域い振） て興 ⑤	の方学（確、区、認め編） ・め編の在 ①	意つ再（見い編て組） 確合認せ・に ⑧	小少（規人模数） 校教の育 意・義 ⑫
回答者全体(n=393)		53.9	49.4	5.1	2.8	2.3	2.3	2.0	1.8	0.8
十日町小(n=29)	IV	72.4	34.5	6.9	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
中条小(n=22)	IV	72.7	36.4	9.1	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0
東小（十日町中区・n=17）	IV	35.3	52.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
東小（中条中区・n=20）	IV	70.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飛渡第一小(n=5)	III	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0
川治小(n=36)	IV	55.6	44.4	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉田小(n=15)	II	40.0	46.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0
鏡島小(n=16)	II	43.8	56.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
下条小(n=32)	IV	50.0	53.1	3.1	0.0	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0
水沢小(n=40)	II	62.5	50.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	2.5	0.0
馬場小(n=11)	II	54.5	54.5	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
西小(n=39)	IV	59.0	38.5	2.6	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6
千手小(n=20)	IV	70.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上野小(n=11)	II	36.4	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
橘小(n=11)	II	36.4	36.4	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0
田沢小(n=36)	IV	44.4	52.8	2.8	5.6	5.6	2.8	0.0	2.8	0.0
松代小(n=27)	IV	44.4	66.7	7.4	0.0	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0
松之山小(n=6)	III	33.3	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

1.7.4 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（コメント）

- 大分類と中分類で回答割合の高かった分類項目について、具体的なコメントで代表的なものを以下に整理した。
- 【大分類】(2)「教育環境等について」の【中分類】⑤「教育・学校環境について確認・意見」としては、「授業の進度の違い・配慮」や「人間関係・心のケア・いじめ」「授業の開始・終了時間」「クラス編成」などが多くみられる。
- 【大分類】(2)「教育環境等について」の【中分類】④「通学方法・時間・負担等の確認・意見」としては、「スクールバスの運行に関すること」や「通学時・通学路の安全・安心」などがほとんどとなっている。

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】⑤教育・学校環境について確認・意見（n=393,53.9%）

コメント内容	小学校区
児童が授業についていけるような学習支援等	中条小
児童が授業についていけるような学習支援	千手小
学校規模が大きくなる事により学習のきめ細かな指導が困難になるのではないかと…	東小（中条中校区）
児童生徒が授業についていけるような学習支援等→学習支援があると安心	西小
通学時間、授業開始時間の変更を実施して遠くから通学する児童の負担を減らすようにした方が良い。	松代小
バスの時間により、部活動や友人との時間が作れない	田沢小
友達との人間関係、いきなり多人数にとまどう	鏡島小
児童はもちろん、先生方のケアも必要と感じます	十日町小
いじめや差別がひどくなるのではと考える	川治小
クラス編成で出身校の偏りがでないように	川治小
可能性（部活動やクラブなど）を見つける数（機会）を与えてほしい。	十日町小
P T Aなどの新たな人間関係が面倒・不登校にならないかといった心配	下条小

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】④通学方法・時間・負担等の確認・意見（n=393,49.4%）

コメント内容	小学校区
スクールバスを何便出すか、部活の朝練時はどうするのか？	橋小
スクールバスの適正人数	飛渡第一小
下校時のスクールバスの細かな時刻設定（部活の子とない子等下校時間が違う）	川治小
安心安全な通学方法、先生や保護者、地域の方の見守りの充実	西小

1.7.5.1 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（特徴）

- 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要な課題や懸念に関する意見で、特徴のある回答傾向（他の小学校区よりも回答割合が高い）がみられた小学校区の回答としては、下表の黄色塗りした所が該当する。
- 具体的な回答内容の主なものは次頁のとおりである。

（単位：％）

		に教（ つ育2 い環） て境 等	つ進学（ いめ区1 て方再） 等編 にの	に地（ つ域6 い振） て興 等	つ内学（ い容区4 て等再） に編 の	に教（ つ育5 い方） て針 等	つ借（ い地7 て料） に	周方学（ 知針区3 等の適） に説正 つ明化 い・ て	に防（ つ災8 い・） て災 害	そ（ の9 他）
回答者全体(n=393)		84.5	6.6	3.6	2.3	1.3	0.8	0.0	0.0	2.5
十日町小(n=29)	IV	96.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中条小(n=22)	IV	86.4	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（十日町中区・n=17）	IV	88.2	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（中条中区・n=20）	IV	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飛渡第一小(n=5)	III	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
川治小(n=36)	IV	94.4	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉田小(n=15)	II	66.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
鏡島小(n=16)	II	75.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
下条小(n=32)	IV	81.3	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
水沢小(n=40)	II	77.5	10.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	5.0
馬場小(n=11)	II	100.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西小(n=39)	IV	79.5	7.7	2.6	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0	2.6
千手小(n=20)	IV	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
上野小(n=11)	II	81.8	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
橘小(n=11)	II	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田沢小(n=36)	IV	80.6	11.1	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
松代小(n=27)	IV	85.2	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
松之山小(n=6)	III	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

1.7.5.2 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（特徴）

- 【大分類】(1)「学区再編の進め方等について」に関する意見の回答割合が高い小学校区としては下表のとおりであるが、「統合に対する反対姿勢」や「時間をかけた合意形成」「統合地域間における時間をかけた交流」などの趣旨の意見が多くみられる。

【大分類】（1）学区再編の進め方等について

コメント内容	小学校区
再編後の子どものケアはもちろん、再編元の地域の人との交流も積極的に取り組んでいく必要がある。	中条小
旧町村部から中学校を全てなくそうなんて乱暴すぎる。児童数が増えて部活動の種類が増えても、通学時間が長すぎて活動に参加できなければ本末転倒。	飛渡第一小
地域の意見をしっかりと聞いてほしい（保護者だけでなく）	鐙島小
地域によって子どもたちがグループ化しないような環境にすること	鐙島小
統合した時は、児童・生徒の安全安心を第1に考え、親だけでなく子ども達も押しつけではなく、納得して新生活に入っていけるような工夫が必要ではないかと思う。	水沢小
統合する年度が決定しているなら事前に3年以上かけて学校と子供同士の交流を多くする必要あり。	水沢小
早急に再編を検討する必要があると思います。子供は人数が多い方が良いと思います。	水沢小
統合先の学区と統合問題に対する温度差がある。地域全体の意見をまとめるには時期が早い。	馬場小
意見をもとめる前に、市はどうかんがえているの？	橋小
地域住民に早期に統合へ理解を示して頂き、一刻も早く統合できるように努力したい	橋小
学区が広範囲になるため、遠くから通う児童、生徒の安定した生活の保障、教育を受ける権利が損なわれることのないようにしてほしいです	田沢小
地域の人への十分な説明と、納得、同意。同意なしの統合はありえない。	田沢小
同地区でも距離に格差がある為なるべく同地区に学校があってほしい！学区別の地域の考えのずれがないか不安	田沢小
方針＝そうなるもの・・・と誤解している方があまりにも多い。校区民が決めることなんだという事をもう少し強調した説明が必要だと思う。	田沢小

1.7.6 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（大分類）

- 学区適正化について自由意見・要望（問10）を9項目の大分類で分類したところ、「学区再編の進め方等について」の回答割合が最も高く、以下「教育環境等について」「学区再編の内容等について」が続いている。
- 小学校区別にみると、『飛渡第一小』や『東小（十日町中）』『馬場小』『松之山小』『中条小』で「学区再編の進め方等について」の回答割合が他の小学校区よりも高くなっている。（単位：％）

		てめ学（ 方区1 等再） 編 の 進	つ教（ い育2 て環） 境 等 に	容学（ 等区4 に再） つ編 いの て内	つ教（ い育5 て方） 針 等 に	つ地（ い域6 て振） 興 等 に	に借（ つ地7 い料） て	つ防（ い災8 て・） 災 害 に	にの学（ つ説区3 い明適） て・正 周化 知方 等針	そ（ の9 他）
回答者全体(n=443)		37.9	28.9	17.6	8.4	6.5	1.8	0.5	0.0	4.7
十日町小(n=42)	IV	40.5	26.2	9.5	11.9	11.9	2.4	0.0	0.0	2.4
中条小(n=21)	IV	52.4	33.3	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
東小（十日町中区・n=11）	IV	54.5	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（中条中区・n=28）	IV	42.9	25.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
飛渡第一小(n=6)	III	66.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
川治小(n=40)	IV	27.5	57.5	10.0	5.0	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5
吉田小(n=17)	II	29.4	5.9	23.5	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
鏡島小(n=17)	II	41.2	23.5	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下条小(n=30)	IV	40.0	26.7	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
水沢小(n=41)	II	36.6	41.5	9.8	0.0	7.3	4.9	0.0	0.0	2.4
馬場小(n=11)	II	54.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
西小(n=47)	IV	34.0	42.6	17.0	6.4	2.1	0.0	0.0	0.0	4.3
千手小(n=26)	IV	46.2	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
上野小(n=22)	II	36.4	18.2	31.8	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
橘小(n=14)	II	35.7	21.4	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
田沢小(n=37)	IV	29.7	18.9	27.0	10.8	2.7	10.8	2.7	0.0	13.5
松代小(n=26)	IV	23.1	23.1	19.2	11.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
松之山小(n=7)	III	57.1	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1.7.7 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（中分類）

- 学区適正化について自由意見・要望（問10）を22項目の中分類で分類したところ、下表のとおりとなっている。
- 最も回答割合が高かったのは「学区再編の在り方、進め方等への確認・意見」で、以下「教育・学校環境について確認・意見」「再編組合せについて確認・意見」が続いている。
- 小学校区別にみると、黄色塗りのある回答割合が当該分類において他の小学校区よりも高くなっている。（単位：％）

		の方学（ 確、区1 認進再） ・め編① 意方の 見等在 へり	意に教（ 見つ育2 い・） て学⑤ 確校 認環 ・境	い再（ て編4 認組） 認合⑧ ・せ 意に 見つ	確間通（ 認・学2 ・負方） 意担法④ 見等・ の時	に形地（ つ成域1 いの内） て在の② り合 方意	小少（ 規人5 模数） 校教⑫ の育 意・ 義	つ地（ い域6 て振） 興⑮ に	意に教（ 見つ職2 い員） ての⑥ 確配 認置 ・等	存反統（ 統対合4 希・） 望学再⑩ 校編 ）
回答者全体(n=443)		33.2	19.4	13.1	7.9	4.5	3.6	3.6	3.4	2.5
十日町小(n=42)	IV	33.3	16.7	9.5	7.1	7.1	4.8	7.1	2.4	0.0
中条小(n=21)	IV	47.6	23.8	14.3	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（十日町中区・n=11）	IV	45.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0
東小（中条中区・n=28）	IV	42.9	21.4	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飛渡第一小(n=6)	III	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
川治小(n=40)	IV	25.0	47.5	7.5	7.5	2.5	0.0	2.5	7.5	2.5
吉田小(n=17)	II	17.6	5.9	11.8	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0
鏡島小(n=17)	II	41.2	11.8	23.5	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0
下条小(n=30)	IV	40.0	23.3	10.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3
水沢小(n=41)	II	29.3	24.4	4.9	17.1	7.3	0.0	0.0	2.4	4.9
馬場小(n=11)	II	54.5	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
西小(n=47)	IV	31.9	31.9	12.8	6.4	2.1	4.3	0.0	8.5	0.0
千手小(n=26)	IV	38.5	11.5	15.4	3.8	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0
上野小(n=22)	II	27.3	0.0	13.6	18.2	9.1	0.0	4.5	0.0	13.6
橘小(n=14)	II	28.6	7.1	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0
田沢小(n=37)	IV	21.6	8.1	21.6	5.4	5.4	8.1	2.7	5.4	5.4
松代小(n=26)	IV	23.1	11.5	11.5	15.4	0.0	3.8	15.4	0.0	7.7
松之山小(n=7)	III	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

1.7.8.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 大分類と中分類で回答割合の高かった分類項目について、具体的なコメントで代表的なものを以下に整理した。
- 【大分類】(1)「学区再編の進め方等について」の【中分類】①「学区再編の在り方、進め方等への確認・意見」としては、「再編・統合賛成」の意見がみられる一方、「旧市町村や地域に1つは小学校が必要」とする声も一部にみられる。また、「再編・統合に際しては子どもや地域の声を大切にすること」という声もみられる。

【大分類】（1）学区再編の進め方等について-【中分類】①学区再編の在り方、進め方等への確認・意見（n=443,33.2%）
【再編に積極的な意見】

コメント内容	小学校区
賛否ある中、学区適正化は必要があると思います。劇的に出生率が上がったり児童数が増えることは見込めない将来、目先のことに捉われず子供の将来のために、誰も取り残されない方法があればいいなあと思う昨今です。よろしくお願いします。	中条小
子供が少なくなっているので学校再編は仕方ないと思います	十日町小
中途半端に合併して要らない建物を作るよりマンモス校にした方がいいのではないのでしょうか。	千手小
どんどん統合していった方が良い。合理的である（予算↓、学校内活動の活発化）	西小
少子化の中で学区再編については必要だと思えますが、学区について検討の必要があると思います。	東小（中条中校区）
子ども達のことを考え行動・実行してほしい	馬場小

【再編に慎重な意見】

コメント内容	小学校区
あまりに広い地域を同一学区にする事には、心配がある。	西小
少子化・児童生徒の減少による再編はやむを得ない気持ちもあるが、人数だけにこだわった統合が、はたして良い教育につながるのだろうか…「ふるさとを愛し…」という市の理念に反すると思うが。根本的な原因である少子化・人口減に対する市の具体的な施策が見えない。学区適正化より、そちらのほうが重要な気がする。	飛渡第一小
人数合わせをするだけでなく、きちんと話し合っ決めて頂きたいです。	十日町小
今のままで十分再編できています。これ以上の統合は学校と地域のつながりが失われます	下条小
児童たちの意見も確実に汲んであげてほしい	鐙島小
小規模校、大規模校どちらもメリット・デメリットがあり簡単に決められない問題だと思う。どちらの選択でも子ども達にとってより良い活動や学校生活が送れる様になってほしい。	松之山小

1.7.8.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 【大分類】（2）「教育環境等について」の【中分類】⑤「教育・学校環境について確認・意見」としては、「いじめ・不登校への対応」や「統合後の複式学級・小規模校出身児童への配慮」「一クラスの適正な人数設定」などの意見がみられる。
- 【大分類】（4）「学区再編の内容等について」の【中分類】⑧「再編組合せについて確認・意見」としては、回答者の属する小学校区周辺の具体的な再編についての意見や考えが多くなっている。

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】⑤教育・学校環境について確認・意見（n=443,19.4%）

コメント内容	小学校区
再編によって生じる、不登校などの問題を解決できるよう議論の場を設けてもらいたい。	十日町小
複式学級の子供たちが、統合後の学習についていけるように丁寧に対応してほしい。（例3・4年生クラスは3年生で4年生の教科を学習している為）	吉田小
1クラス少人数で、児童生徒一人一人に目がいきとどく様にしてほしい	馬場小
規模が大きくなることにより、いじめなど（友達関係）の問題の対策強化が出来るのか心配です	川治小

【大分類】（4）学区再編の内容等について-【中分類】⑧再編組合せについて確認・意見（n=443,13.1%）

コメント内容	小学校区
川西地域の小学校は千手と上野・橘ではなく川西で一つにした方がいいのではないかと思います。	千手小
松代ですが、十日町に通うことにとっても距離と感じます。まつのやま学園と一緒に、もしくはまつのやま学園のように小中一貫にはなりませんか？せっかく新しい小学校の校舎もったいないです。	松代小
小学校統合ですが、なぜ全校数が多い学校が、少ない学校へ統合されるのですか。吉田地区以外は人数が少ない学校が、多い学校への統合案となっています。再検討が必要だと思います。	鏡島小
小学校再編案には賛成します。近い学校同士でBestだと思います。…	西小
現在、橘小に通っています。上野小への統合も心配しています。結局千手とも統合するのなら、1回で統合してしまったほうが負担が少ないのではとも思います。将来を見据えた対応をお願いしたいです。後援会等、大きな組織の声ではなく、もっと現場の声をきいてもらいたいです。	橘小
橘、上野を早く統合してもらいたい。こども園と一緒に過ごした仲間と小学校も一緒に過ごしたいという子供の希望です。	橘小

1.7.9.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（特徴）

- 学区適正化についての意見で、特徴のある回答傾向（他の小学校区よりも回答割合が高い）がみられた小学校区の回答としては、下表の黄色塗りした所が該当する。
- 具体的な回答内容の主なものは次頁のとおりである。

（単位：％）

		てめ学（ 方区1 等再） に編 つの い進	つ教（ い育2 て環） 境等 に	容学（ 等区4 に再） つ編 いの て内	つ教（ い育5 て方） 針等 に	つ地（ い域6 て振 興等 に	に借（ つ地7 い料） て	つ防（ い災8 て・） 災害 に	にの学（ つ説区3 い明適） て・正 周化 知方 等針	そ（ の9 他）
回答者全体(n=443)		37.9	28.9	17.6	8.4	6.5	1.8	0.5	0.0	4.7
十日町小(n=42)	IV	40.5	26.2	9.5	11.9	11.9	2.4	0.0	0.0	2.4
中条小(n=21)	IV	52.4	33.3	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
東小（十日町中・n=11）	IV	54.5	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
東小（中条中n=28）	IV	42.9	25.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
飛渡第一小(n=6)	III	66.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
川治小(n=40)	IV	27.5	57.5	10.0	5.0	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5
吉田小(n=17)	II	29.4	5.9	23.5	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
鏡島小(n=17)	II	41.2	23.5	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下条小(n=30)	IV	40.0	26.7	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
水沢小(n=41)	II	36.6	41.5	9.8	0.0	7.3	4.9	0.0	0.0	2.4
馬場小(n=11)	II	54.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
西小(n=47)	IV	34.0	42.6	17.0	6.4	2.1	0.0	0.0	0.0	4.3
千手小(n=26)	IV	46.2	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
上野小(n=22)	II	36.4	18.2	31.8	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
橘小(n=14)	II	35.7	21.4	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
田沢小(n=37)	IV	29.7	18.9	27.0	10.8	2.7	10.8	2.7	0.0	13.5
松代小(n=26)	IV	23.1	23.1	19.2	11.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
松之山小(n=7)	III	57.1	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1.7.9.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（特徴）

- 【大分類】（1）「学区再編の進め方等について」に関する意見の回答割合が高い小学校区としては下表のとおりであるが、『中条小』では「地域や保護者の声をよく聞くこと」が主なものとなっているが、『馬場小』では「子どものことを最優先すること」が主なものとなっている。また『東小（十日町中）』や『松之山小』では「旧市町村で1校」とする声がみられる。
- 【大分類】（2）「教育環境等について」に関する意見の回答割合が高い小学校区としては下表のとおりであるが、いずれも「子どもにとっての適正な人数」「教師の適正人数」などに関する意見が寄せられている。
- 【大分類】（4）「学区再編の内容等について」に関する意見の回答割合が高い小学校区としては下表のとおりであるが、『橘小』『上野小』とも「両校の統合の在り方」に関する意見が寄せられている。

【大分類】（1）学区再編の進め方等について（n=443,37.9%）

コメント内容	小学校区
地域や保護者の意見をしっかりと聞き入れてほしい	中条小
旧十日町、川西、中里、松代、松之山・・・内での学区編成が望ましいです。（エリアをまたがない）	東小（十日町中校区）
この事が子供には精神面で重要だと思います。子供の心を第一に考えた上での早期統合を望みます。	馬場小
人数だけで統合するのは、おかしいと思います。学校は子どもたちがいきいきと学ぶ場所です。ムリヤリくっつけると爆発すると思います。旧市町村に1校は絶対必要です。ぜひ見直しを!!おねがいします！本気でやりましょう!!	松之山小

【大分類】（2）教育環境等について（n=443,28.9%）

コメント内容	小学校区
少人数の学校だと人間関係でつまずいた時に大変と思う。クラス替えが出来るような人数での学校が良いと思う。ただ学校が遠くなると遅刻や早退など不便な事も多い	川治小
教師が減らないなどの教育上のメリットを。	水沢小
大規模校になる事で、子ども1人ひとりに目を配れるのか。見落とされないか、の心配。小規模校であっても、しっかり運営できる配置基準になることが一番理想的だとは思いますが、難しいのでしょうか？	西小

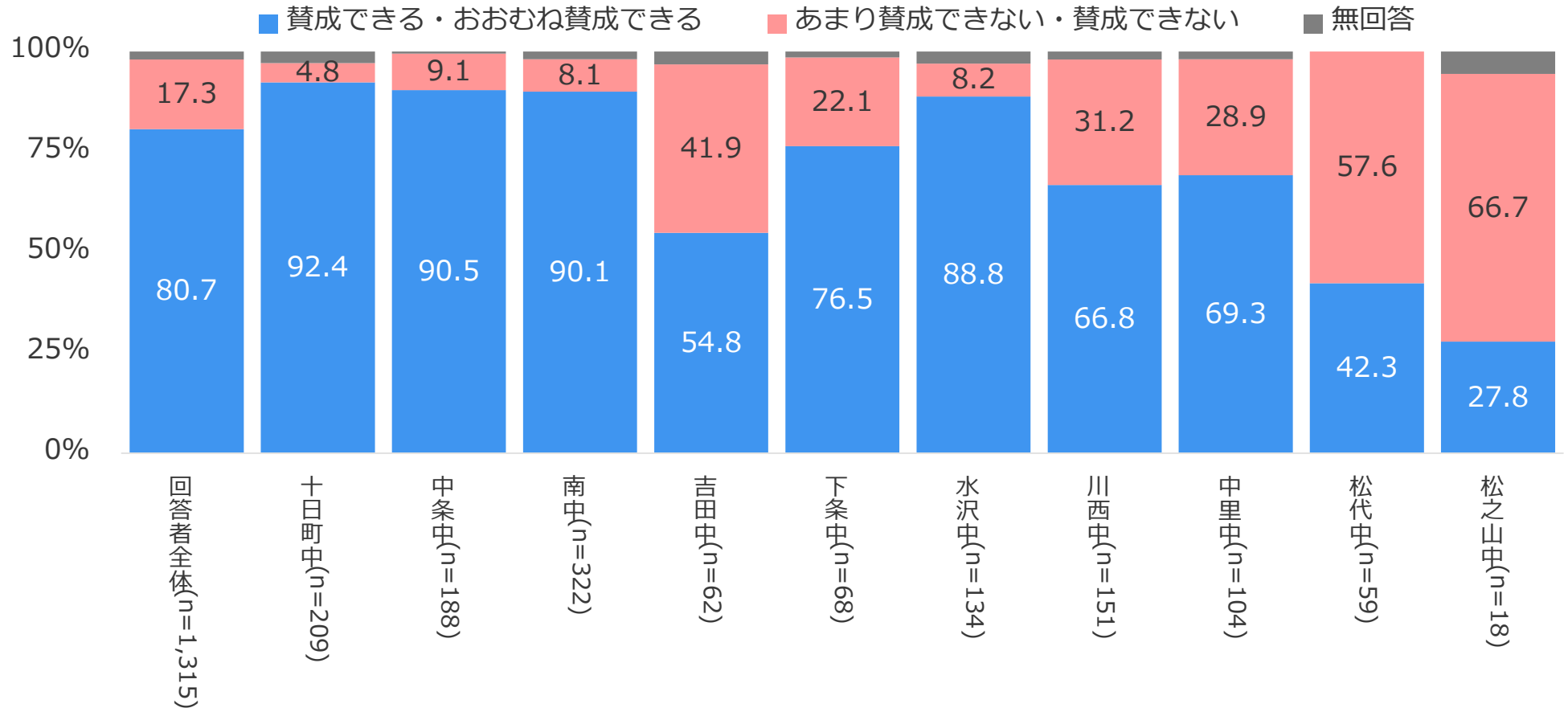
【大分類】（4）学区再編の内容等について（n=443,17.6%）

コメント内容	小学校区
現在、橘小に通っています。上野小への統合も心配しています。結局千手とも統合するのなら、1回で統合してしまったほうが負担が少ないのではとも思います。後援会等、大きな組織の声ではなく、もっと現場の声をきいてもらいたいです。	橘小
上野、橘と保育園は一緒なのに、小学生になったら別々になるのはどうなのか。小学校も一緒だと子供もうれしいし親もそのまま会う事も話もできていいのでは。	上野小

2. 中学校区

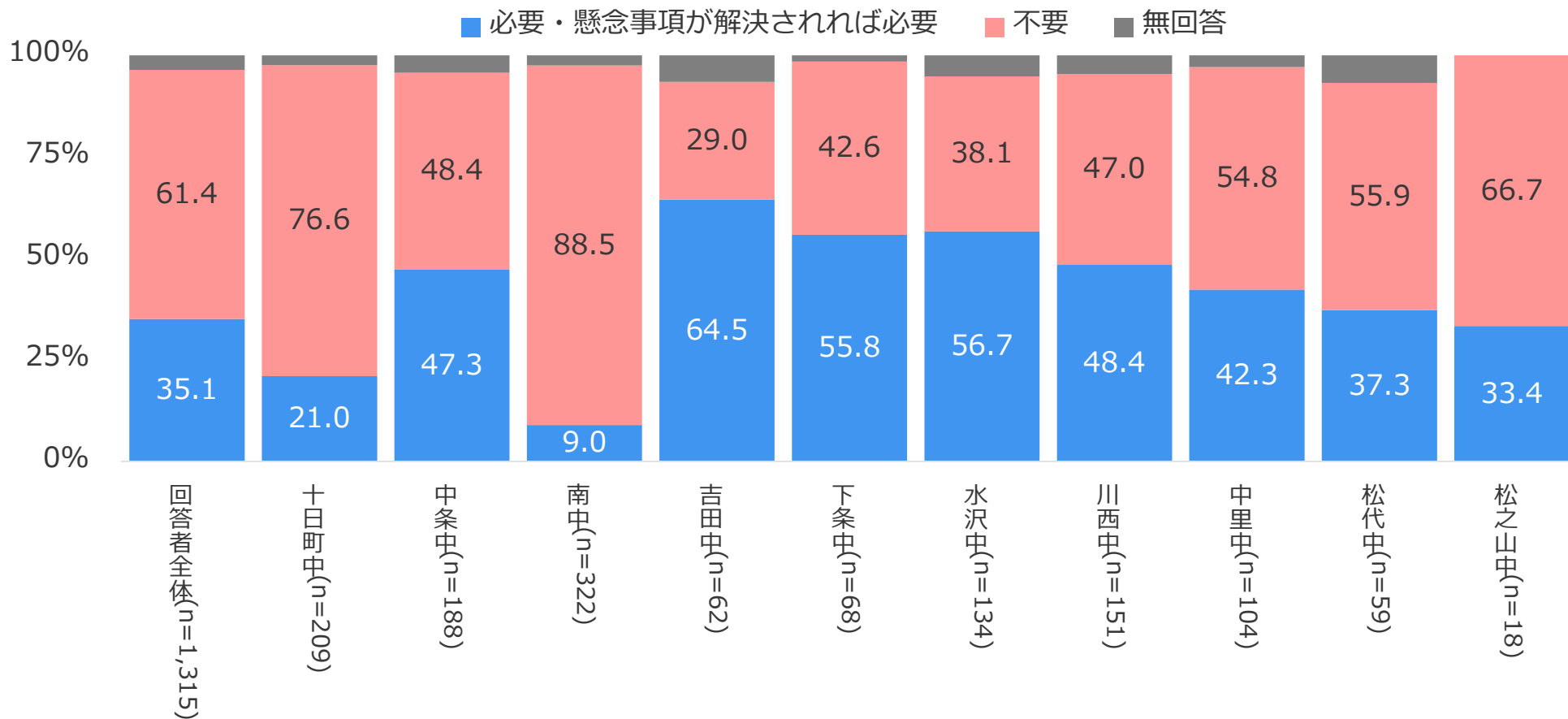
2.1 中学校の学区再編の基本方針への賛否（問3）

- 中学校の学区再編の基本方針（1学年2学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合と『反対』（「あまり賛成できない」または「賛成できない」と回答した人の割合の合計）の割合をみると、『賛成』は80.7%、『反対』は17.3%となっている。
- 中学校区別にみると、『賛成』の割合が高い中学校区は「十日町中」「中条中」「南中」「水沢中」などとなっている。
- 一方、『反対』の割合が高い中学校区としては「松之山中」「松代中」「吉田中」などとなっている。



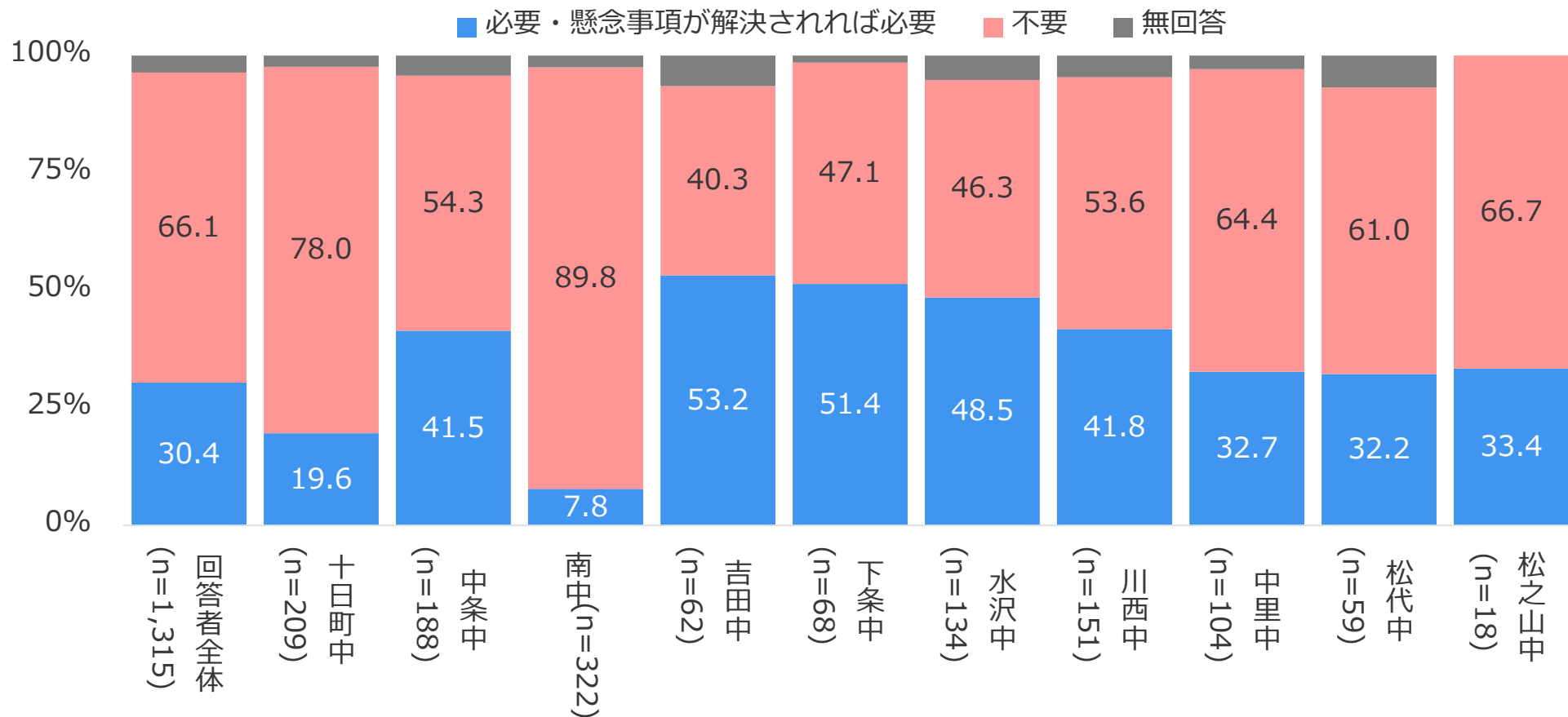
2.2 居住地区の中学校の学校統合の要否（問6）

- 居住地区の中学校の学校統合に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人の割合の合計）の割合と『不要』（「不要」と回答した人の割合）の割合をみると、回答者全体での『必要』は35.1%、『反対』は61.4%となっている。
- 中学校区別にみると、『必要』の割合が高い中学校区は「吉田中」「水沢中」「下条中」などとなっている。
- 一方、『不要』の割合が高い中学校区としては「南中」「十日町中」「松之山中」などとなっている。



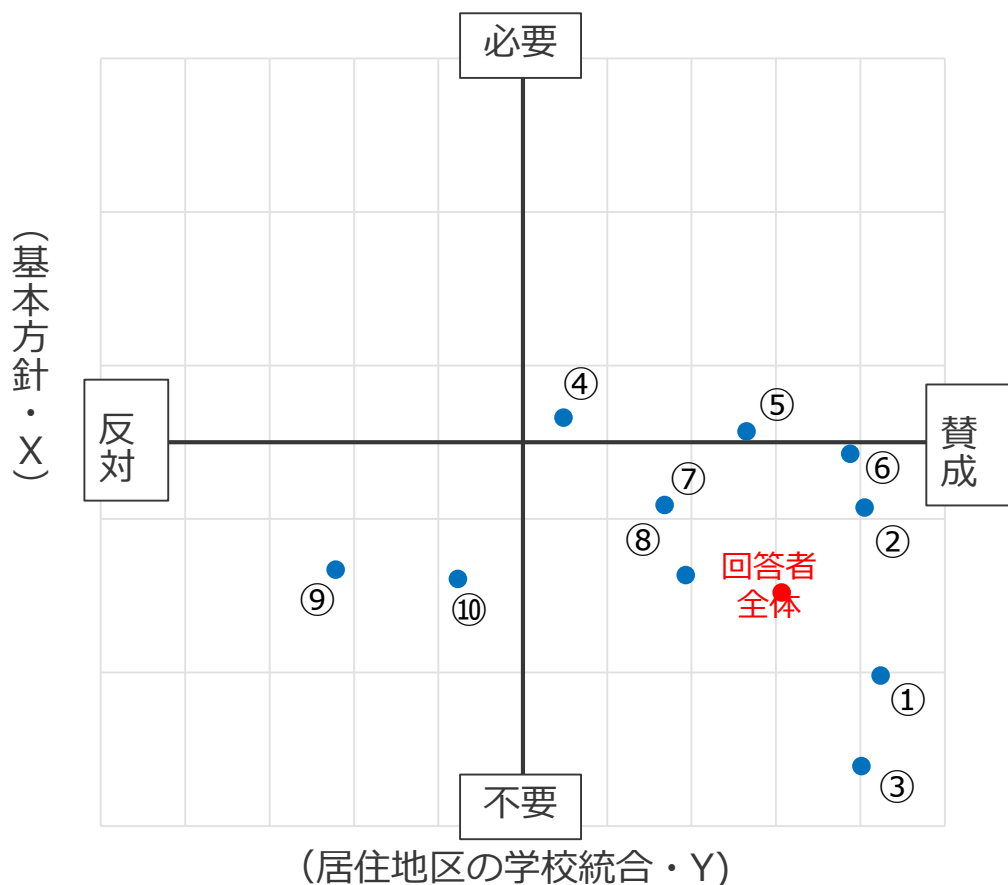
2.3 居住地区の中学校の学校再編の実質要否（問6）

- 居住地区の中学校の学校統合に対して『必要』（※1）の割合と『不要』（※2）の割合をみると、回答者全体での『必要』は30.4%、『反対』は66.1%となっている。
 - 中学校区別にみると、『必要』の割合が高い中学校区は「吉田中」「下条中」「水沢中」などとなっている。
 - 一方、『不要』の割合が高い中学校区としては「南中」「十日町中」「松之山中」などとなっている。
- （※1）「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で統合対象の小学校として居住地区以外の中学校を回答した人の割合の合計
 （※2）「不要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で再編対象の小学校として居住地区の中学校を回答した人の割合の合計



2.4 基本方針への賛否×居住地区の学校再編の実質要否（問6）（中学校）

- 中学校の学区再編の基本方針（1学年2学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合をX軸（横軸）上に、居住地区の中学校の学校再編に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人で再編対象の中学校として居住地区以外の中学校を回答した人の割合の合計）の割合をY軸（縦軸）上にプロットしたのが下図である。
- 中学校区別にみると、『賛成』『必要』の割合が両方高い中学校区としては「下条中」「吉田中」となっている。
- 一方、『賛成』『必要』の割合が両方低い中学校区は「松代中」「松之山中」となっている。

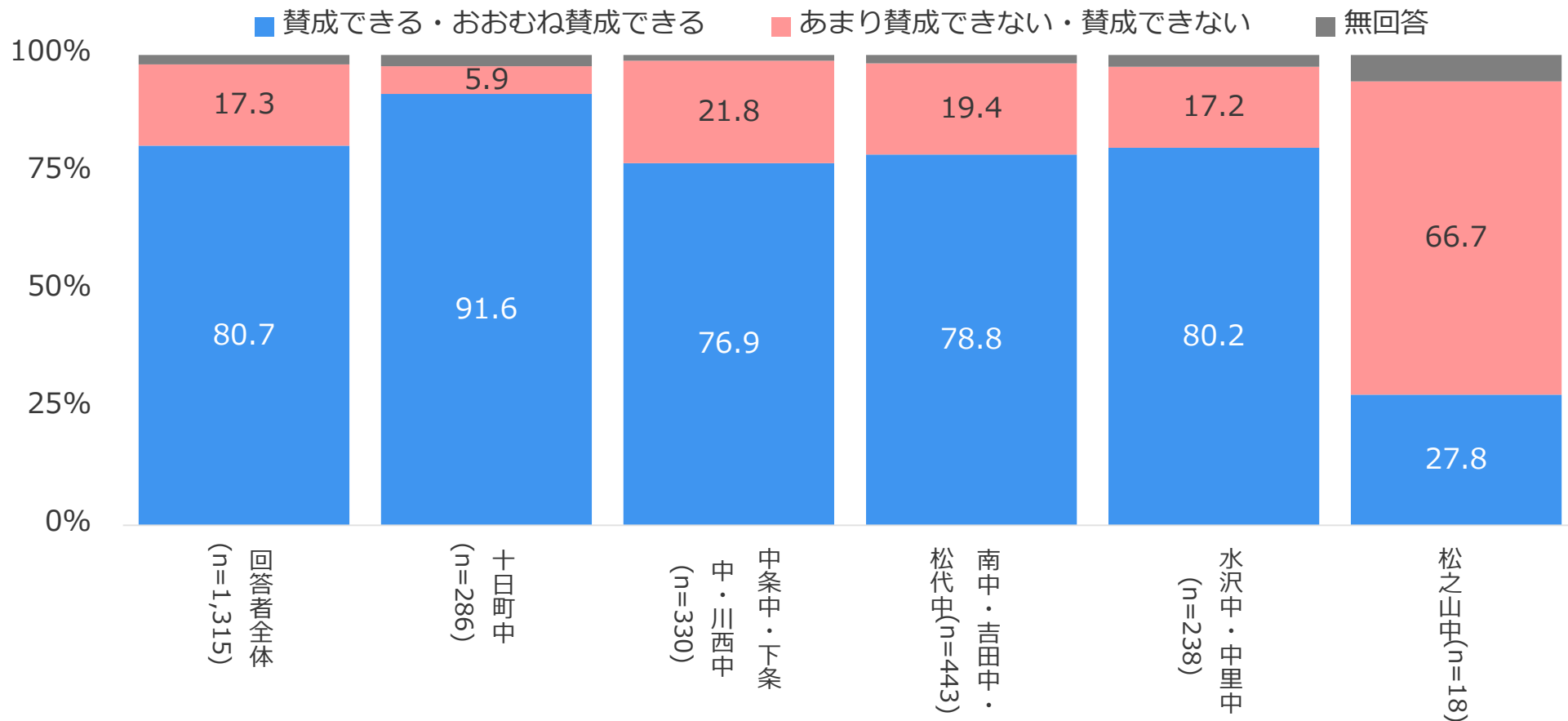


※X軸とY軸の交点は50%の点である。赤色のプロットは回答者全体の結果である

図表中 番号	中学校
①	十日町中
②	中条中
③	南中
④	吉田中
⑤	下条中
⑥	水沢中
⑦	川西中
⑧	中里中
⑨	松代中
⑩	松之山中

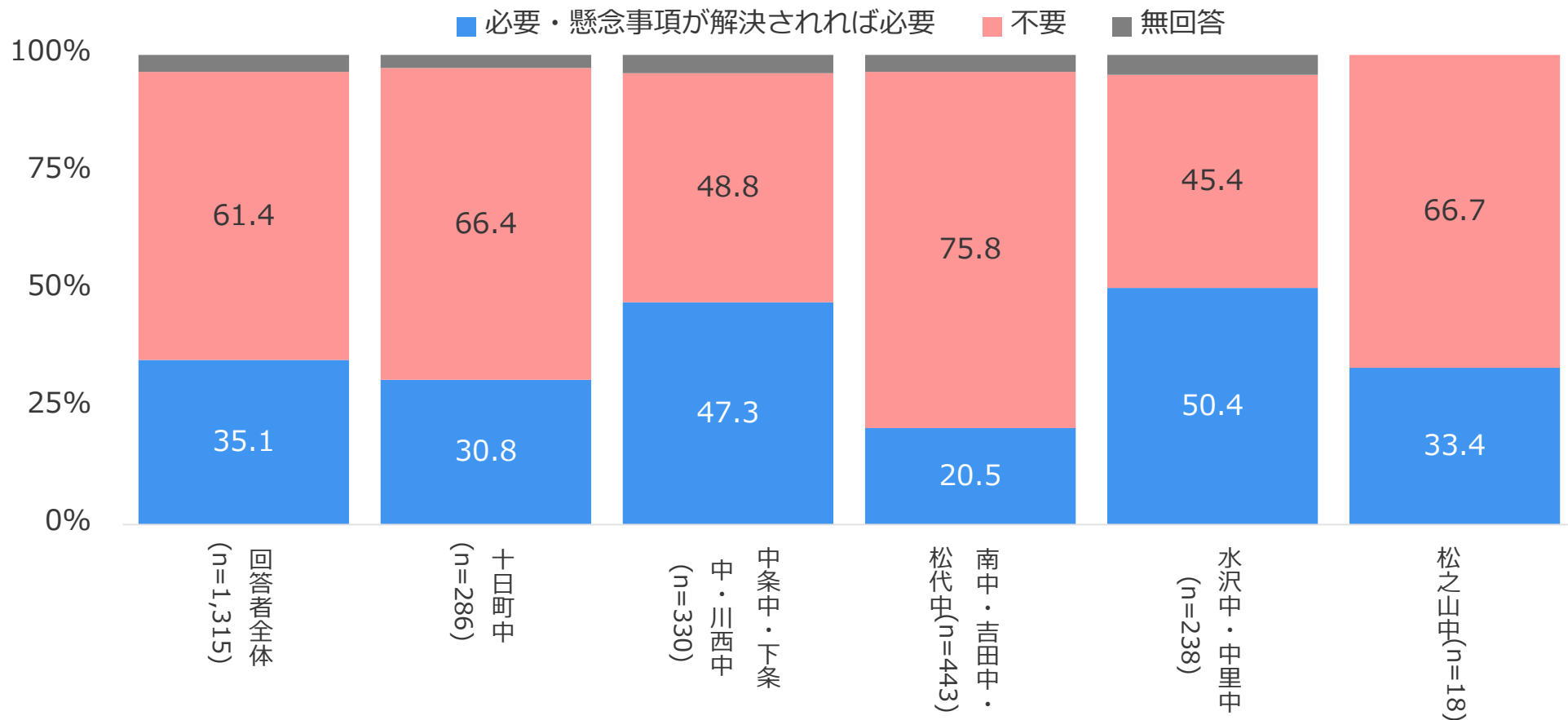
2.5 中学校の学区再編の基本方針への賛否（問3）【再編単位別】

- 中学校の学区再編の基本方針（1学年2学級以上）に対して『賛成』（「賛成できる」または「おおむね賛成できる」と回答した人の割合の合計）の割合と『反対』（「あまり賛成できない」または「賛成できない」と回答した人の割合の合計）の割合をみると、回答者全体での『賛成』は80.7%、『反対』は17.3%となっている。
- 再編単位別の中学校区でみると、「松之山中」以外は、『賛成』と『反対』のそれぞれ割合は回答者全体と同程度となっている。



2.6 居住地区の中学校の学校統合の要否（問6）【再編単位別】

- 居住地区の中学校の学校統合に対して『必要』（「必要」または「懸念事項が解決されれば必要」と回答した人の割合の合計）の割合と『不要』（「不要」と回答した人の割合）の割合をみると、回答者全体での『必要』は35.1%、『反対』は61.4%となっている。
- 再編単位別の中学校区でみると、『必要』の割合が高い中学校区は「水沢中・中里中」「中条中・下条中・川西中」となっているが、必要の割合は50%程度である。
- 一方、『不要』の割合が高い中学校区としては「南中・吉田中・松代中」「十日町中」「松之山中」となっている。



2.7.1 記述回答の分類について

- 本アンケート調査の記述回答（※）について、「第2次学区適正化方針説明会等の総括について（令和2年11月 十日町市教育委員会）」における意見等の分類と同様に、次のとおり整理した。

※再編に当たっての課題や懸念（問9）及び自由意見（問10）

大分類	中分類
(1) 学区再編の進め方等について	①学区再編の在り方、進め方等への確認・意見
	②地域内の合意形成の在り方について
	③学校統合に当たっての調整について
(2) 教育環境等について	④通学方法・時間・負担等の確認・意見
	⑤教育・学校環境について確認・意見
	⑥教職員の配置等について確認・意見
(3) 学区適正化方針の説明・周知等について	⑦方針の説明・周知等について確認・意見
	⑧再編組合せについて確認・意見
(4) 学区再編の内容等について	⑨川西側への中学区存続要望
	⑩統合（再編）反対・学校存続希望
	⑪教育方針・内容について確認・意見
(5) 教育方針等について	⑫少人数教育・小規模校の意義
	⑬小中一貫教育・小中一貫校
	⑭学区外就学について確認・意見
	⑮地域振興について
(6) 地域振興等について	⑯少子化対策について確認・意見
	⑰産業振興・経済課題
	⑱閉校後の校舎の活用について
	⑲地域の伝統文化について
(7) 借地料について	⑳借地料について
(8) 防災・災害について	㉑防災について
(9) その他	㉒その他

2.7.2 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（大分類）

- 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）に関する意見を9項目の大分類で分類したところ、「教育環境等について」の回答割合が特に高くなっている。
- 中学校区別にみても大きな差はみられないが、『十日町中』や『中条中』で「教育環境等について」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており「存続校として再編・統合後の教育環境の変化」を意識しているものとみられる。また、『中里中』や『水沢中』『吉田中』で「学区再編の進め方等について」の回答割合が他の中学校区よりもやや高くなっており、「再編の進め方や内容等」について配慮を求める人がやや多いものとみられる。

（単位：％）

		教 育 環 境 等 に つ い て （ 2 ）	進 学 区 再 編 に つ い て （ 1 ）	地 域 振 興 等 に つ い て （ 6 ）	内 容 区 再 編 に つ い て （ 4 ）	教 育 方 針 等 に つ い て （ 5 ）	借 地 に つ い て （ 7 ）	明 学 区 周 知 正 等 化 に つ い て 説 （ 3 ）	防 災 ・ 災 害 に つ い て （ 8 ）	そ の 他 （ 9 ）
回答者全体(n=393)		84.5	6.6	3.6	2.3	1.3	0.8	0.0	0.0	2.5
十日町中(n=46)	IV	93.5	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中条中(n=47)	IV	89.4	6.4	6.4	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
南中(n=75)	IV	86.7	5.3	2.7	0.0	2.7	1.3	0.0	0.0	1.3
吉田中(n=31)	II	71.0	9.7	3.2	9.7	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5
下条中(n=32)	II	81.3	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
水沢中(n=51)	IV	82.4	9.8	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.9
川西中(n=42)	IV	83.3	4.8	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
中里中(n=36)	IV	80.6	11.1	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
松代中(n=27)	III	85.2	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
松之山中(n=6)	III	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

※ローマ数字は2.4の図でX軸とY軸の交点より左上の位置にある場合をI、右上をII、左下をIII、右下をIVと表している。（次頁以後同じ）

※複数の分類に該当する回答があるため、各分類における割合の合計が100%を超える場合がある。（次頁以後同じ）

2.7.3 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（中分類）

- 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要な課題や懸念に関する意見を22項目の中分類で分類したところ、「教育・学校環境について確認・意見」の回答割合が最も高く、次いで「通学方法・時間・負担等の確認・意見」が続いている。
- 中学校区別にみると、『中条中』と『水沢中』で「教育・学校環境について確認・意見」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており「存続校として再編・統合後の教育環境の変化」を意識しているものとみられる。一方、『松代中』と『松之山中』で「通学方法・時間・負担等の確認・意見」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており、他地域に比べて通学にかかる各種負担が現状でも大きいことが背景にあるとみられる。

（単位：％）

	に教 つ育 い・ て学 確校 認環 ・境 意見	等通 の学 確方 認法 ・ 意時 見間 ・ 負担	に教 つ職 い員 ての 確配 認置 ・等 意見	調学 整校 に統 つ合 いに て当 たっ ての	在 地 り 域 方 内 に の つ 合 い 意 て 形 成 の	地 域 振 興 に つ い て	め学 方区 等再 へ編 のの 確在 認り ・方 意見進	確再 認編 ・組 意合 見せ に つ い て	小少 規人 模数 校教 の育 意・ 義
回答者全体(n=393)	53.9	49.4	5.1	2.8	2.3	2.3	2.0	1.8	0.8
十日町中(n=46) IV	58.7	41.3	6.5	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0
中条中(n=47) IV	63.8	44.7	4.3	2.1	4.3	2.1	2.1	0.0	2.1
南中(n=75) IV	57.3	41.3	4.0	5.3	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3
吉田中(n=31) II	41.9	51.6	3.2	3.2	3.2	0.0	3.2	9.7	0.0
下条中(n=32) II	50.0	53.1	3.1	0.0	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0
水沢中(n=51) IV	60.8	51.0	11.8	3.9	2.0	0.0	5.9	2.0	0.0
川西中(n=42) IV	52.4	52.4	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0
中里中(n=36) IV	44.4	52.8	2.8	5.6	5.6	2.8	0.0	2.8	0.0
松代中(n=27) III	44.4	66.7	7.4	0.0	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0
松之山中(n=6) III	33.3	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

2.7.4 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（コメント）

- 大分類と中分類で回答割合の高かった分類項目について、具体的なコメントで代表的なものを以下に整理した。
- 【大分類】（2）「教育環境等について」の【中分類】⑤「教育・学校環境について確認・意見」としては、「いじめや不登校への配慮」や「部活動に関すること（統合による部活動内容の選択肢の拡大）」「スクールバス通学による生徒・保護者の負担増」などが多くみられる。また、「小規模校出身者への配慮」や「学習支援に関すること」なども一部にみられる。
- 【大分類】（2）「教育環境等について」の【中分類】④「通学方法・時間・負担等の確認・意見」としては、「スクールバスや通学に関すること」がほとんどとなっている。

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】⑤教育・学校環境について確認・意見（n=393,53.9%）

コメント内容	中学校区
友達との人間関係、いきなり多人数にとまどう	吉田中
自分の住まい外の中学に行くことへの不安は大きい。不登校が増えそう。	中里中
実際に通う生徒第一での対応	中条中
部活動が少なく、やりたくない部活を選ぶしかない、やりたい事をやれるようにしてほしい	水沢中
バスの時間により、部活動や友人との時間が作れない	中里中
遠距離通学による、通学手段、部活動へしっかり参加できるか、保護者の負担が大きくなるのでは？	中条中
クラス編成で出身校の偏りがでないように	南中
不適応、不登校未然防止対応	南中
いじめ問題。部活動を強制しないでほしい、必ず部活動に入らなければいけない等、やめてほしい。	十日町中
こどもたちの学習環境の充実として一人ひとりが能力を發揮できるよう支援が必要	十日町中
部活動の数と内容の充実、児童生徒が授業についていけるような学習支援	水沢中

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】④通学方法・時間・負担等の確認・意見（n=393,49.4%）

コメント内容	中学校区
スクールバスを何便出すか、部活の朝練時はどうするのか？	川西中
夫婦共働きのため、遠くの学校になると送迎が心配なので、統合するならスクールバスを充実させてほしい。	下条中
通学が遠いからという理由で部活動の入部などに影響が出ないようなスクールバスの運営は必要。	松代中
中学生になると部活動があり、休日や部活延長時の保護者送迎の負担が大きい。	松之山中

2.7.5.1 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（特徴）

- 学区再編（学校統合）に当たっての対応が必要な課題や懸念に関する意見で、特徴のある回答傾向（他の中学校区よりも回答割合が高い）がみられた中学校区の回答としては、下表の黄色塗りした所が該当する。
- 具体的な回答内容の主なものは次頁のとおりである。

（単位：％）

	教 育 環 境 等 に つ い て (2)	進 学 区 再 編 に つ い て (1)	地 域 振 興 等 に つ い て (6)	内 容 区 再 編 に つ い て (4)	教 育 方 針 等 に つ い て (5)	借 地 料 に つ い て (7)	明 学 区 周 知 正 等 化 に つ い て 説 (3)	防 災 ・ 災 害 に つ い て (8)	そ の 他 (9)
回答者全体(n=393)	84.5	6.6	3.6	2.3	1.3	0.8	0.0	0.0	2.5
十日町中(n=46) IV	93.5	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中条中(n=47) IV	89.4	6.4	6.4	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
南中(n=75) IV	86.7	5.3	2.7	0.0	2.7	1.3	0.0	0.0	1.3
吉田中(n=31) II	71.0	9.7	3.2	9.7	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5
下条中(n=32) II	81.3	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
水沢中(n=51) IV	82.4	9.8	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.9
川西中(n=42) IV	83.3	4.8	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
中里中(n=36) IV	80.6	11.1	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
松代中(n=27) III	85.2	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
松之山中(n=6) III	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

2.7.5.2 学区再編に当たって、対応が必要な課題や懸念（問9）（特徴）

- 【大分類】（1）「学区再編の進め方等について」に関する意見の回答割合が高い中学校区としては『吉田中』『水沢中』『中里中』の3校区であるが、「子どもたちや保護者、地域の意見の尊重」や「再編・統合に向けた融和・交流」などがほとんどとなっている。
- 【大分類】（4）「学区再編の内容等について」に関する意見の回答割合が高い中学校区として『吉田中』があるが、「吉田中の存続希望」や「統合時の吉田中生への配慮」などとなっている。

【大分類】（1）学区再編の進め方等について（n=393,6.6%）

コメント内容	中学校区
計画を曲げないような方針や説明とならず、しっかりと地域の意見を聞き、取り決めていくこと。	吉田中
統合した時は、児童・生徒の安全安心を第1に考え、親だけでなく子ども達も押しつけではなく、納得して新生活に入っていけるような工夫が必要ではないかと思う。	水沢中
統合する年度が決定しているなら事前に3年以上かけて学校と子供同士の交流を多くする必要あり。	水沢中
学区が広範囲になるため、遠くから通う児童、生徒の安定した生活の保障、教育を受ける権利が損なわれることのないようにしてほしいです	中里中
統合する学校同士、地域がより仲良くなれる様な取り組みが必要だと思います。	中里中
地域の人への十分な説明と、納得、同意。同意なしの統合はありえない。	中里中

【大分類】（4）学区再編の内容等について（n=393,2.3%）

コメント内容	中学校区
南中学校に吉田中学校が吸収される時には、お互いの差別意識をなくす様にしてほしい。吉田出身者が孤立しない様にしてほしい	吉田中
吉田地域に中学校を残す様に検討してもらいたい。	吉田中
吉田中は何故南中と統合になるのか？人数の違いに子どもたちは大変戸惑うと思う。川西中ではダメなのか？統合先をもっと考えてほしい、地域に残すにはどうしたら良いか考えてほしい。	吉田中

2.7.6.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（大分類）

- 学区適正化についての自由意見・要望（問10）を9項目の大分類で分類したところ、「学区再編の進め方等について」の回答割合が最も高く、以下「教育環境等について」「学区再編等の内容について」などとなっている。
- 中学校区別にみると、『中条中』と『松之山中』で「学区再編の進め方等について」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっているが、『中条中』では「東小卒業生の十日町中・中条中への分割問題」や「川西中との広域再編・統合」などへの関心があるとみられ、『松之山中』では「生徒数を基準とした再編・統合」への抵抗感があるとみられる。

（単位：％）

	進学（ め区1 方再） 等編 にの つ い て	教（ 育2 環） 境 等 に つ い て	に学（ つ区4 い再） て編 の 内 容 等	教（ 育5 方） 針 等 に つ い て	地（ 域6 振） 興 等 に つ い て	借（ 地7 料） に つ い て	防（ 災8 ・） 災 害 に つ い て	明学（ ・区3 周適） 知正 等化 に方 つ針 いの て説	そ（ の9 他）
回答者全体(n=443)	37.9	28.9	17.6	8.4	6.5	1.8	0.5	0.0	4.7
十日町中(n=53) IV	43.4	26.4	9.4	9.4	11.3	1.9	0.0	0.0	1.9
中条中(n=55) IV	49.1	27.3	16.4	5.5	5.5	0.0	0.0	0.0	5.5
南中(n=87) IV	31.0	49.4	13.8	5.7	2.3	1.1	0.0	0.0	3.4
吉田中(n=34) II	35.3	14.7	23.5	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
下条中(n=30) II	40.0	26.7	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
水沢中(n=52) IV	40.4	36.5	9.6	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8
川西中(n=62) IV	40.3	17.7	29.0	3.2	8.1	0.0	1.6	0.0	4.8
中里中(n=37) IV	29.7	18.9	27.0	10.8	2.7	10.8	2.7	0.0	13.5
松代中(n=26) III	23.1	23.1	19.2	11.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
松之山中(n=7) III	57.1	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2.7.6.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（大分類）

- 2.7.6.1に続き中学校区別にみると、『南中』で「教育環境等について」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており「存続校として再編・統合後の教育環境の変化」を意識しているものとみられる。
- 一方、『川西中』と『中里中』で「学区再編の内容等について」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており、「再編の進め方や内容等」について配慮を求める人がやや多いものとみられる。また、『吉田中』と『松之山中』で「教育方針等について」の割合が高くなっているが、『吉田中』では「十日町市全体の学区」や「他県等の先進的な教育」に関心のある人がやや多く、『松之山中』ではこれまでの「小規模校の良さ」等を意識している人が多いと思われる。

（単位：％）

【再掲】	進学（ め区1 方再） 等編 にの つ い て	教（ 育2 環） 境 等 に つ い て	に学（ つ区4 い再） て編 の 内 容 等	教（ 育5 方） 針 等 に つ い て	地（ 域6 振） 興 等 に つ い て	借（ 地7 料） に つ い て	防（ 災8 ・） 災 害 に つ い て	明学（ ・区3 周適） 知正 等化 に方 つ針 いの て説	そ（ の9 他）
回答者全体(n=443)	37.9	28.9	17.6	8.4	6.5	1.8	0.5	0.0	4.7
十日町中(n=53) IV	43.4	26.4	9.4	9.4	11.3	1.9	0.0	0.0	1.9
中条中(n=55) IV	49.1	27.3	16.4	5.5	5.5	0.0	0.0	0.0	5.5
南中(n=87) IV	31.0	49.4	13.8	5.7	2.3	1.1	0.0	0.0	3.4
吉田中(n=34) II	35.3	14.7	23.5	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
下条中(n=30) II	40.0	26.7	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
水沢中(n=52) IV	40.4	36.5	9.6	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8
川西中(n=62) IV	40.3	17.7	29.0	3.2	8.1	0.0	1.6	0.0	4.8
中里中(n=37) IV	29.7	18.9	27.0	10.8	2.7	10.8	2.7	0.0	13.5
松代中(n=26) III	23.1	23.1	19.2	11.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
松之山中(n=7) III	57.1	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ローマ数字は2.4の図でX軸とY軸の交点より左上の位置にある場合をI、右上をII、左下をIII、右下をIVと表している

2.7.7.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（中分類）

- 学区適正化についての自由意見・要望（問10）を自由回答形式で尋ねたものを22項目の中分類で分類したところ、「学区再編の在り方、進め方等への確認・意見」の回答割合が最も高く、以下「教育・学校環境について確認・意見」「再編組合せについて確認・意見」などとなっている。
- 中学校区別にみると、『中条中』と『下条中』『松之山中』で「学区再編の在り方、進め方等への確認・意見」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており、「再編の進め方や内容等」について配慮を求める人がやや多いものとみられる。

（単位：％）

	め学（ 方区1 等再） へ編① のの 確在 認り ・方 意、 見進	つ教（ い育2 て・） 確学⑤ 認校 ・環 意境 見に	確再（ 認編4 ・組） 意合⑧ 見せ に つ いて	負通（ 担学2 等方） の法④ 確・ 認時 ・間 意・ 見	の地（ 在域1 り内） 方の② に合 つ意 い形 て成	小少（ 規人5 模数） 校教⑫ の育 意・ 義	地（ 域6 振） 興⑮ に つ いて	に教（ つ職2 い員） ての⑥ 確配 認置 ・等 意見	・統（ 学合4 校） 存再⑩ 統編 希） 望反 対
回答者全体(n=443)	33.2	19.4	13.1	7.9	4.5	3.6	3.6	3.4	2.5
十日町中(n=53) IV	35.8	17.0	9.4	5.7	7.5	3.8	7.5	3.8	0.0
中条中(n=55) IV	45.5	20.0	16.4	9.1	3.6	1.8	3.6	0.0	0.0
南中(n=87) IV	28.7	39.1	10.3	6.9	2.3	2.3	1.1	8.0	1.1
吉田中(n=34) II	29.4	8.8	17.6	2.9	5.9	8.8	0.0	2.9	0.0
下条中(n=30) II	40.0	23.3	10.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3
水沢中(n=52) IV	34.6	23.1	5.8	13.5	5.8	0.0	1.9	1.9	3.8
川西中(n=62) IV	32.3	6.5	17.7	9.7	8.1	3.2	3.2	1.6	4.8
中里中(n=37) IV	21.6	8.1	21.6	5.4	5.4	8.1	2.7	5.4	5.4
松代中(n=26) III	23.1	11.5	11.5	15.4	0.0	3.8	15.4	0.0	7.7
松之山中(n=7) III	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

2.7.7.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（中分類）

- 2.7.7.1に続き中学校区別にみると、『南中』で「教育・学校環境について確認・意見」の回答割合が他の中学校区よりも高くなっており「存続校として再編・統合後の教育環境の変化」を意識しているものとみられる。

（単位：％）

【再掲】	め学（ 方区1 等再） へ編① のの 確在 認り ・方 意、 見進	つ教（ い育2 て・） 確学⑤ 認校 ・環 意見に	確再（ 認編4 ・組） 意合⑧ 見せ に つ いて	負担（ 担学2 等方） の法④ 確・ 認時 ・間 意見	の地（ 在域1 り内） 方の② に合 つ意 い形 て成	小少（ 規人5 模数） 校教⑫ の育 意・ 義	地（ 域6 振） 興⑮ に つ いて	に教（ つ職2 い員） ての⑥ 確配 認置 ・等 意見	・統（ 学合4 校） 存再⑩ 続編 希） 望反 対
回答者全体(n=443)	33.2	19.4	13.1	7.9	4.5	3.6	3.6	3.4	2.5
十日町中(n=53) IV	35.8	17.0	9.4	5.7	7.5	3.8	7.5	3.8	0.0
中条中(n=55) IV	45.5	20.0	16.4	9.1	3.6	1.8	3.6	0.0	0.0
南中(n=87) IV	28.7	39.1	10.3	6.9	2.3	2.3	1.1	8.0	1.1
吉田中(n=34) II	29.4	8.8	17.6	2.9	5.9	8.8	0.0	2.9	0.0
下条中(n=30) II	40.0	23.3	10.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3
水沢中(n=52) IV	34.6	23.1	5.8	13.5	5.8	0.0	1.9	1.9	3.8
川西中(n=62) IV	32.3	6.5	17.7	9.7	8.1	3.2	3.2	1.6	4.8
中里中(n=37) IV	21.6	8.1	21.6	5.4	5.4	8.1	2.7	5.4	5.4
松代中(n=26) III	23.1	11.5	11.5	15.4	0.0	3.8	15.4	0.0	7.7
松之山中(n=7) III	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

2.7.8.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 大分類と中分類で回答割合の高かった分類項目について、具体的なコメントで代表的なものを以下に整理した。
- 【大分類】（1）「学区再編の進め方等について」の【中分類】①「学区再編の在り方、進め方等への確認・意見」としては、「早期に進めてほしい」や「学校再編は仕方のないこと」という意見がみられる一方、統合に際しては「子どもの意見を聞いてほしい」や「子ども第一」「保護者や地域の声を聞く」などが散見されるほか、「もう少し話し合いを深める」なども一部にみられる。

【大分類】（1）学区再編の進め方等について-【中分類】①学区再編の在り方、進め方等への確認・意見（n=443,33.2%）

コメント内容	中学校区
早期に進めてほしい。今通っている子供たちや親の意見が大切。お年寄りたちの学校を守りたいという気持ちは計画を遅らせるのでよくない。	水沢中
小学校は地域にあったほうがよい。中学校は規模を大きくしたほうがよい	中条中
少子化の今、学校再編は仕方のないことと理解しています。	中里中
統合したメリットをもう少し詳しく知りたい。	南中
急いで行わず話し合いを重ねていただきたい	水沢中
中途半端に合併して要らない建物作るよりマンモス校にした方がいいのではないのでしょうか。	川西中
これからの人たち（現在未就学児がいる家庭やこれから子どもを産み育てる若者）の意見を尊重して進めてほしいです	十日町中
人数が多くなるメリット、デメリットをよく考えてもらい、最後は保護者の意見を聞いて、納得した合併を行ってほしいと思います。	松之山中
この事が子供には精神面で重要だと思います。子供の心を第一に考えた上での早期統合を望みます。	水沢中
地域や保護者の意見をしっかりとときき入れてほしい	中条中
行政が行いやすいようではなく、子ども達の環境や、地域性などをよく考え、進めていってほしいです。	吉田中
「小学校」「中学校」では親として求めるものが違う部分があるので（小学校では安全性を求めると教育・中学校はそれプラス社会性も学んでほしい。）小中共に同じ学区にするのではなく、別々であってもいいのではと思う。	下条中

2.7.8.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 【大分類】（2）「教育環境等について」の【中分類】⑤「教育・学校環境について確認・意見」としては、「いじめや不登校への配慮」や「部活動に関すること（統合による部活動内容の選択肢の拡大）」が多くみられる。
- また、「一クラスの適正な人数設定」「クラス編成に関すること」なども一部にみられる。

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】⑤教育・学校環境について確認・意見（n=443,19.4%）

コメント内容	中学校区
中学など、これから統合する場合、小さな学校の子がなじみやすくなるよう、統合前から関わりを少しずつ作るなどしていじめや孤立がおきないようにしてほしい。	南中
中学からいきなり集団となり、いじめ、不登校が心配。朝・夕の時間がきついと思う。部活の時間を考え親の負担も考えてもらいたい。	松代中
統合でいじめがあったときになど子どもたちがスムーズになじめるような対応をきちんとしてほしいです。	下条中
大規模校になる事で、子ども1人ひとりに目を配れるのか。見落とされないか、の心配。小規模校であっても、しっかり運営できる配置基準になることが一番理想的だとは思いますが、難しいのでしょうか？	南中
中学の部活動が単独ではなりたっていない現状があると知り、また勉強面でも人数が少ないと切磋琢磨の機会がないことも想定される。早く統合してほしかったが、現在子供が小6のため間に合わない	水沢中
中学校の部活動が少なくなってきたと聞いています。ある程度、子供が選択できるように数を多くしてほしいです。そのためには再編も必要かなと思います。	南中
中里が水沢に統合というのが納得できません。人数も中里の方が多し校区も広いです。通学する時の負担が大きいです。部活動やクラスが増えいい面もあると思いますが、統合は本当に必要なのか疑問です。1クラスが35人を超えないと2クラスにならない事にも不満です。人数が多いと全然目がいきとどいていない気がします。	中里中
少人数の学校だと人間関係でつまずいた時に大変と思う。クラス替えが出来るような人数での学校が良いと思う。ただ学校が遠くなると遅刻や早退など不便な事も多い	南中

2.7.8.3 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 【大分類】（4）「学区再編の内容等について」としては、回答者の属する中学校区周辺の具体的な再編についての意見や考えが多くなっている。また、「川西に中学校を残すべき」との回答が散見される。

【大分類】（4）学区再編の内容等について【中分類】⑧再編組合せについて確認、意見（n=443,13.1%）

【中分類】⑨川西側への中学区存続要望（n=443,2.3%）

コメント内容	中学校区
中条・下条・川西→人数の関係もあると思うが、川西は少し無理があるように（地理的に）思う。再検討をしていただきたい。（中条・下条・東小）（川西・吉田・松代）→自然な学区だと思います。	中条中
東小は、卒業後、子供たちがわかる為、かわいそう。中条中は、遠すぎる	中条中
松代を南に統合させようとする意図が不明。地理的に見ても松之山、吉田、松代で統合を考える方が通学、コミュニティスクール等のメリットが大きいのでは？	南中
水沢小学校に子供が通っていますが、中里中と水沢中との再編は反対です。高校ならともかく思春期で難しい年頃に地域性が異なるところとの再編は反対です。	水沢中
松代中学校を南中学校に再編するのは反対です。松代小学校とのつながり、地域とのつながりがなくなります。松代地域における中学校の役割は大きいです。	松代中
東小学校区が中条と十日町中学に分かれる問題を早めにかかしてほしいです。	中条中
極端な統合はさけた方がいいと思います。十日町橋（信濃川）をはさんでの統合など、橋をわたる統合についてはむりがあると思う	十日町中
川西・吉田・松代地域方面にまったく中学校が無くなってしまい、地域の活性化が厳しくなるように思う。例えば、中心部の吉田中学校に上記の3校を統合させるなどが良いと思う。	南中
中里→水沢中に通うにあたり、水沢地区の地理や土地勘に子どもが慣れていないのが不安。統合自体には賛成だが、逆に水沢の子どもが中里地区になじみがあるか、慣れる事ができるか、水沢地区の方にも聞いてみたい。	中里中
災害時等に川を渡って登校するのは危険ではないか？まずは川を渡らずに再編を考えるべきではないか。	南中
川西地域に中学校を残してもらいたい。地域の為、子供の地域に対する地元愛をもってもらいたい。	川西中
川東方面のみではなく川西方面に学校を残してほしい	吉田中

2.7.8.4 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（コメント）

- 【大分類】（2）「教育環境等について」の【中分類】④「通学方法・時間・負担等の確認・意見」としては、「スクールバスに関すること」がほとんどとなっている。

【大分類】（2）教育環境等について-【中分類】④通学方法・時間・負担等の確認・意見（n=443,7.9%）

コメント内容	中学校区
現在、スクールバスで通学させてもらっていますが、良い面があります。急な天候の悪化や熊、不審者など登下校の不安は少ないです。	南中
松之山学園へのスクールバス（市街地から）を運行して欲しい。市内にはすばらしい学校が多数ある、希望があれば学区外への通学を今より柔軟にOKとし、登校のスクールバス等の通学方法も市としてサポートして欲しい。	十日町中
スクールバスで通学となると、休日などの部活動で学校へ行く時、保護者の送迎が必要になり、非常に負担が増える。徒歩圏内の保護者とでは負担度合がかなり違うので対応を考えてほしい。（部活動のスクールバス運行や子ども用のタクシーチケットなど）	川西中
スクールバス利用の子と、そうでない子の格差が少なくなるような対策をとってほしい	水沢中
遠距離になってしまう場合、一番不安になるのは安全安心で、通学が子供の勉学と保護者の勤務に支障がでないような通学方法を用意してくれるのか？ということだと思う。その点をしっかり対応し、さらにきちんと説明することが再編の理解を広く深めることにつながると思う。	中条中
人数が多ければ部活も楽しくなり授業も活発になるとは思いますが、スクールバスで長時間の登下校には生活に支障があると思っています。	松代中
人数が少なくなったら統合ではないと思います。少人数ならではの良さがあると思います。通学時間が多いほど、子供への負担も多くなると思います。	中里中
登校時間が40分近くかかる地区にはスクールバスを出してほしいと思います。子供の安全を考え、改善を求めます。	水沢中

2.7.9.1 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（特徴）

- 中学校区の学区適正化についての意見で、特徴のある回答傾向（他の中学校区よりも回答割合が高い）がみられた中学校区の回答としては、下表の黄色塗りした所が該当する。
- 具体的な回答内容の主なものは次頁のとおりである。なお、【大分類】（4）「学区再編の内容等について」の具体的な回答内容は2.7.8.3と同様である。

（単位：％）

	進学（ め区1 方再） 等編 にの つ い て	教（ 育2 環） 境 等 に つ い て	に学（ つ区4 い再） て編 の 内 容 等	教（ 育5 方） 針 等 に つ い て	地（ 域6 振） 興 等 に つ い て	借（ 地7 料） に つ い て	防（ 災8 ・） 災 害 に つ い て	明学（ ・区3 周適） 知正 等化 に方 つ針 いの て説	そ（ の9 他）
回答者全体(n=443)	37.9	28.9	17.6	8.4	6.5	1.8	0.5	0.0	4.7
十日町中(n=53) IV	43.4	26.4	9.4	9.4	11.3	1.9	0.0	0.0	1.9
中条中(n=55) IV	49.1	27.3	16.4	5.5	5.5	0.0	0.0	0.0	5.5
南中(n=87) IV	31.0	49.4	13.8	5.7	2.3	1.1	0.0	0.0	3.4
吉田中(n=34) II	35.3	14.7	23.5	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
下条中(n=30) II	40.0	26.7	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
水沢中(n=52) IV	40.4	36.5	9.6	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8
川西中(n=62) IV	40.3	17.7	29.0	3.2	8.1	0.0	1.6	0.0	4.8
中里中(n=37) IV	29.7	18.9	27.0	10.8	2.7	10.8	2.7	0.0	13.5
松代中(n=26) III	23.1	23.1	19.2	11.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
松之山中(n=7) III	57.1	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2.7.9.2 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（特徴）

- 【大分類】（2）「教育環境等について」に関する意見の回答割合が高い中学校区は『南中』や『水沢中』であるが、「教員の適正配置」や「子どもたちにとっての適正な人数」「子どもたちにとってのより良い教育環境」に関するものが主なものとなっている。

【大分類】（2）教育環境等について（n=443,28.9%）

コメント内容	中学校区
小さな学校で一定数の教員の方をつけるよりは学区の適正化を行い職員の方を充実させた方がよい。小さな学校だと部活なども、選択できずやりたいものが、できない、人数がそろわないなど問題がある。	南中
南中学校区ですが、子供が少ない地域の事を考えると学校統合は賛成ですが、統合後1クラスの人数が今以上に多くなるのは先生が一人一人の学習状況を把握できるか少し不安な所があります。1クラスに先生が2人など何か対策して頂けるのであれば良いと思います	南中
地域に学校が無くなる事を心配するよりも、子供達にとってクラス替えもできずに、保育園から中学まで同じメンバーで過ごす事はあまり良い事には思えません。刺激し合ったり、助け合ったり、色々な考えを持つ人がいる環境で育って行って欲しいと思います。	南中
学校運営も厳しい状況にあるという現状を知るきっかけになりました。統合も致し方ない部分もあると思いますが、せっかく統合した後、規模が大きくなるのであれば子供が自分で選択できる場面を増やして欲しい（部活動種類等）し、それと同時に不安を抱える子供のフォローをしっかりとって欲しいと感じました。	南中
難しい問題で100%理解を得ての再編は困難だと思いますが、より子どもたちに良い教育環境となるよう対応していただければと思います。	南中
とにかく児童生徒当事者の学びや経験を第一に考えてほしい。どちらになってもメリット、デメリットはあるが、地域や当事者でない人の意見より子ども達にとって何が一番いいのかを専門家らと検討してほしい。	水沢中
教師が減らないなどの教育上のメリットを。	水沢中

2.7.9.3 学区適正化についての自由意見・要望（問10）（特徴）

- 【大分類】（4）「学区再編の内容等について」に関する意見の回答割合が高い中学校区は『吉田中』や『川西中』『中里中』であるが、「自地域における中学校の存続希望」に関するものが主なものとなっている。
- 【大分類】（5）「教育方針等について」に関する意見の回答割合が高い中学校区は『吉田中』であるが、「十日町市の学区そのもの」に関する意見が寄せられている。

【大分類】（4）学区再編の内容等について（n=443,17.6%）

コメント内容	中学校区
中学校学区適正化について、吉田は南中と統合予定が進められているようですが、川の山側の学校を全て町へ集中させるまとめ方はあまり望めません。吉田であれば松代・川西との統合を考えて頂ける方が良いのでは…そして他の学区の学校全てにおいて、存続させる小・中学校が特色ある学校となり、県外へ転出してしまった県民が地元へ戻って子育てがしたくなるような体制作りをして頂きたいです。	吉田中
「川はまたがない」は大切だと思います。文化的にも安全面でも	吉田中
川西中を残してほしいです！	川西中
川西中学校←中条、下条地区の子供を通学させることはできないのか？吉田・松代が南中になると、川西側が中学校がなくなる。	川西中
はじめに松代→南中、中里→水沢と出され市民は反感をもったと思う。意見をとりあげながら構想を進めていくべき	中里中
中里地域に中学校を残して欲しい。統合ありきのアンケートに感じます。	中里中

【大分類】（5）教育方針等について（n=442,8.4%）

コメント内容	中学校区
R5年度入学予定ですが、少人数クラスに入学させることに抵抗感を感じています。学区外就学も検討せざるを得ません。早急に検討していただきたいです。	吉田中
学校区をなくしてみたらと思う	吉田中

十日町市第2次学区適正化に関する
アンケート調査結果分析
報告書

令和4年3月

第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社